

# 校友会報

2018 vol. 139



2018年は代議員選挙の年です!



## 校友会とは

校友会は学校法人工学院大学が設置した学園内の各種学校の卒業生を会員とし、相互の親睦と連携ならびに学園の発展を願って支援を行うことを目的とした団体です。

### ■校友会とは

#### ◎校友の親睦と連携

人は社会において働くだけでなく、余暇を共に過ごせる仲間が必要です。校友会は同じ学園を卒業した仲間が、親交を深め、仕事や趣味に生かせる交流の場を提供し、卒業生の人生を豊かにするための活動をしています。

#### ◆校友会の目的◆

##### 学園の教育事業への援助

##### 出身者相互の親睦

1. 学園への協力
  - ・ 学園寄付金活動への協力
  - ・ 新校舎等建設資金援助
  - ・ 学園理事・監事・評議員として学園運営の参画
2. 在学(校)生への援助
  - ・ 学園祭等の援助
  - ・ クラブ活動の援助
  - ・ 奨励金の支給
3. 会員のスキルアップ活動
  - ・ 講演会の開催
  - ・ 見学会の開催
  - ・ 講習会の開催
  - ・ 異業種交流会の開催
4. 会誌等の発行
  - ・ 会誌の発行
  - ・ 校友会のしおりの発行
5. 親睦活動
  - ・ 親睦会の開催
  - ・ 支部活動への援助

### ■役員紹介

#### 会長(卒業年、学科)



田中 英生  
(1965年、大学機械工学科)

#### 理事(所属部、卒業年、学科)



植木 幸裕  
(総務部長、1975年、大学機械工学科)



相澤 良夫  
(財務部長、1968年、専門学校機械科)



小澤 和重  
(同窓会組織部長、1973年、大学電気工学科)



上野 耕平  
(支部組織部長、1973年、大学電気工学科)



鄭 雄飛  
(財務部副部長、1963年、附属高校建設科)



佐藤 弘規  
(広報部副部長、1999年、大学建築学科)

#### 理事(所属部、卒業年、学科)



渡辺 征三  
(支部組織部副部長、1968年、専門学校機械科)



若林 勝司  
(総務部、1969年、附属高校普通科)



志村 豊  
(学園連携部、1973年、大学工業化学科)



長谷川 努  
(学園連携部、1971年、大学電気工学科)

#### 監事(卒業年、学科)



岡崎 明男  
(1974年、大学機械工学科)



島林 正美  
(1974年、大学電気工学科)



山川 義則  
(1968年、専門学校機械科)



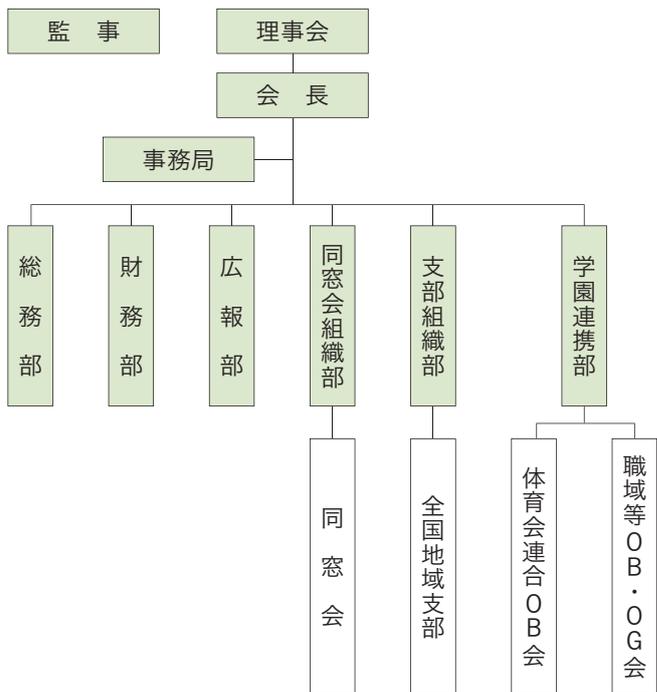
関谷 重彦  
(1965年、大学機械工学科)

#### ◎学園支援

校友会は、優秀学生の表彰、優秀活動の顕彰、大学学園祭やクラブ活動、附属中学校・高等学校の夢工祭や助成金制度による学生・生徒の活動に対する援助を行うと共に、卒業生がこれまでのキャリアを生かした就職支援、学園の知名度向上、その他ボランティア活動を行っています。

### ■組織図

一般社団法人工学院大学校友会 組織図



## ご挨拶

一般社団法人工学院大学校友会 会長 田中 英生	02
学校法人工学院大学 理事長 後藤 治	03
工学院大学 学長 佐藤 光史	03
工学院大学附属中学校・高等学校 校長 平方 邦行	03

## イベント報告

第5回定時社員総会(第61回総会)報告	04
科学教室校友会ふれあいコーナー報告	05
全国大会報告	06
新春の集い2018報告	07

## 学園 Topics

学園	08
附属中学校・高等学校	09
大学	10

## 同窓会特集

研究室同窓会	12
機械系同窓会	14
化学系同窓会	16
電気系同窓会	18
建築系同窓会	20
附属高校同窓会	22
専門学校同窓会	24

## OB・OG会特集

関電工OB会／体育会連合OB会／グリークラブOB会	26
サークル活動紹介	27

## 支部特集

第5回全国支部長会報告	28
新支部長紹介	29
山形県支部／茨城県支部／富山県支部／奈良県支部	32

## 各部会の報告

総務部／財務部／広報部／同窓会組織部／支部組織部／学園連携部	36
--------------------------------	----

## 事務局の報告

第4回代議員選挙のお知らせ	38
主な行事予定／表彰学生・生徒／学術講演会	40
受章報告／訃報／施設のご利用について／事務局からのお知らせ	41
維持協力会費納入者ご芳名	42

# 校友会の明るい未来へ向けて



一般社団法人工学院大学校友会 会長 田中 英生

皆さま、こんにちは、会長の田中でございます。いよいよ2018年度が始まりました。新年度という節目に昨年一年の振り返りと新しい方向を確認してみたいと思います。

校友会は「更なる活性化」という長期目標を掲げ、校友会6部が一丸となって諸施策を実施してまいりましたが、その具体的な施策は以下ようになります。(順不同)

- ① 学園と共同での卒業生台帳の整備
- ② 学生時代のメールアドレスを本人のIDとして永久に使用できないかという調査
- ③ 代議員の任期延長の検討
- ④ 個人情報保護規則の整備
- ⑤ 在校生の顕彰イベントの拡大の検討
- ⑥ 維持協定会費徴収の推進
- ⑦ 校友会報が如何に読んでもらえるかという紙面の工夫
- ⑧ 読みたい人、読んでいる人に限定配布する方法の模索
- ⑨ ホームページの更なる進化とホームページをメインとする情報発信体制の研究
- ⑩ 各種イベント、講演会から収益を出す事を考えていく工夫
- ⑪ 各同窓会間の垣根を取り払った横断的なイベントを考えていく(目標はアトリウムに入りきれないくらいの集客であります)
- ⑫ 全国大会(次回は大分大会)の更なる活性化を目指す
- ⑬ プロジェクト活動への更なる人的、金銭的支援
- ⑭ 科学教室などの学園イベントへの更なる協力
- ⑮ 各支部活動への支援、応援
- ⑯ 校友会の人資源の学園への更なる活用を目指す
- ⑰ 校友会の知名度の拡大を目指し、イベント毎のブース設置など情宣活動を更に進める
- ⑱ それを通して学生、学園教職員の皆さまとの交流を深める
- ⑲ 大学後援会とのコラボレーションによる学生の就職活動支援などであります。

3年前に「校友会の更なる活性化に向けて」という目標を掲げ、出来るだけ多くの校友の皆さんに校友会イベントに参加して頂ければ、定款の二つの目的が同時に叶うのですと申し上げました。こうした活動や調査研究はすべてそのためであり、ご苦労されている皆さんには心からお礼を申し上げます。

すでに軌道に乗っているものから、結果が出るまでにはもう少し時間がかかるものまで様々ですが、少しでも多くの結果を出し、その結果を校友の皆さんに提供し続けなければならない訳です。そのためには、特に後に続く若い皆さんに支えてもらう必要があります。若い皆さんにより多くイベントに参加して頂くことで人材の連続性が保たれる訳で、校友会のような組織には大変重要なことでもあります。自然に交流が出来上がり、自然に校友会の活動に馴染んで頂けるようになります。

今年度も又「更なる活性化」を目指して頑張りますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

# 21世紀型教育では Growth Mindsetが 重要になる



工学院大学附属中学校・高等学校 校長  
平方 邦行

校友会の皆さま、平素のご厚情に心より感謝申し上げます。

ご承知のとおり、私立学校を取り巻く状況は、たいへん厳しいものがあります。特に少子化の波は、今後多摩地域を容赦なく襲ってきます。

私たちは多摩地域でキラリと光る学校を目指して、改革を進めてきました。いま一度冷静にGlobal社会の中での「日本の教育」を考えると、「質の転換」を迫られていることに気づきます。「工学院教育」も例外ではありません。それは教育の過渡期であるといえます。過渡期は教師のありようが変わらなければ、新しいステージで輝き続けるのは困難です。如何にGrowth Mindset できるのか否かが、重要なキーワードになるのです。こんなことを真剣に考えている、2018年度の幕開けです。

# 建学の精神を表す 存在感



工学院大学 学長  
佐藤 光史

卒業生の皆様には、健やかにご活躍のこととお慶び申し上げます。

本学は、JST/NEDO主催のイノベーションジャパンにおいて、2016、2017年と連続して全国私立大学トップの出展数が採択されました。東京ビッグサイトでのこのイベントは、研究シーズを求めて2日間で2万5千人を超える企業からの来場者を誇る産学連携の象徴です。「社会・産業と最先端の学問を幅広くつなぐ『工』の精神」を建学の精神とする本学にとって、その存在感を示す上で重要です。

また、本学は2017年に発表されたTHE世界大学ランキングとQSアジア大学ランキングにおいて、それぞれTop 5%と3%にランクインを果たしています。グローバルにも存在感を高めながら、今後も実力を発揮し続けます。

# 新たな中期計画を スタート



学校法人工学院大学 理事長  
後藤 治

2017年10月31日、学校法人工学院大学は創立130周年を迎えました。創立130周年にあたり、皆様から多くの寄附や格別の支援をいただいたことを、改めて御礼申し上げます。

本学は、長期目標「Vision150」と中期計画「コンパス2017」に基づき、様々な事業を展開してきました。2017年度は、中期計画の最終年度にあたるため、Vision150を見直し、新たな中期計画「コンパス2023」をスタートさせることにしました。

校友のみなさんが誇りをもち、親しみをもって訪問できる母校となれるよう、大学・大学院では21世紀型のものづくりに貢献するリーダーの育成、附属中学校・高等学校では21世紀型教育の展開をキーワードに、社会から評価される学園を目指します。さらなるお力添えをお願いできると幸いです。

# 第5回定時社員総会(第61回総会)報告

総務部 部長 植木 幸裕

一般社団法人移行後、5回目となる定時社員総会が2017年5月28日(日)に新宿キャンパス3階アーバンテックホールで開催されました。今回は第3回代議員選挙が行われた年のため、臨時社員総会を同日同場所で事前に開催し、新たに選挙で選ばれた106名の代議員の内、83名の出席を得て新役員(新理事13名、新監事3名)の承認が決議され、その後に開催された新理事による第1回理事会で田中 英生会長と澤崎 宏副会長が選任されました。

引き続き開催された定時社員総会では、平成28年度事業報告と決算書の承認、平成29年度事業計画と予算及び、臨時社員総会で承認された新役員の報告が行われ、総会は午前中で終了しました。その後は、各同窓会に分かれて同窓会報告会兼意見交換会が開催されました。

各同窓会の報告会兼意見交換会が終了した14時過ぎからは、再び3階アーバンテックホールに会場を移し、表彰式を開催しましたが、表彰に先立ち、臨時社員総会で承認された新

役員と、校友会の6部(総務、財務、広報、同窓会組織、支部組織、学園連携の各部)の部長、副部長もスクリーン上で紹介されました。そして、後藤 治理事長の来賓挨拶、佐藤 光史学長、平方 邦行附属中学校・高等学校校長からは学園近況報告をして頂いたのちに、校友会員表彰(勲章・褒章受章者5名への表彰状、退任支部長5名への感謝状)、優秀学生・生徒表彰を行い、表彰学生のご家族も含め総勢260名で喜びを分かち合いました。

16時から中層棟7階の学生食堂に於いて懇親会が賑やかに催されました。



議案審議



議場風景



懇親会

## ■第6回定時社員総会のご案内

第6回定時社員総会は、2018年5月27日(日)に新宿キャンパスで開催されます。

- 10:00～ 受付開始  
(3階アーバンテックホール)
- 10:30～ 第6回定時社員総会  
(3階アーバンテックホール)
- 12:30～ 各同窓会報告会兼意見交換会  
(同窓会ごとに別会場)
- 14:20～ 校友会員、優秀学生・生徒表彰式  
(3階アーバンテックホール)
- 16:00～ 懇親会  
(中層棟7階食堂ホール)

◎定時社員総会の議題案は下記の通りです。

1. 2017年度事業報告と決算の承認
2. 定款の改正の承認
3. 2018年度事業計画と予算報告
4. 全国大会・北海道大会実施報告
5. 第4回代議員選挙実施の件

◎社員総会・懇親会には全国から代議員や各支部長をはじめとする、多くの会員が集まります。親睦を深めると同時に、会員相互のネットワークを広げることもお役にたください。

◎全国支部長会が第6回定時社員総会前日の2018年5月26日(土)に予定されています。

# 夏の科学教室にて、校友の輪が広がっています！！

学園連携部 望月 千尋/矢ヶ崎 隆義

第34回『わくわくサイエンス祭 科学教室』が、八王子キャンパスと附属中学校・高等学校を会場として、2017年8月26日(土)、27(日)に盛大に開催されました。この夏の科学教室は、工学院大学の理科学教育における社会貢献事業の一つであり、ものづくりや実験を通して理科学の有用性や実用性を伝える等により地域の子供さんに対する理科学教育の振興を展開する場となっており、本学の認知度の向上にも寄与しています。東京の西部地域では、“夏の風物詩”とまで言われるようになっており、「科学教室と言えば“工学院大学”」がすっかり定着しています。

また、工学院大学ではこの夏の科学教室や出張科学教室(2017年は長野県諏訪市で開催)の企画・運営に支援参画している中学校・高等学校の生徒と大学の学生や大学院生のアクティブラーニングの手法に基づく教育実践プログラムと位置付けて開催しており、得られた教育成果等を公の場で公開することなどを通して、教育面における他の高等教育機関のグッド・プラクティスとなる事例として文部科学省などの教育監督機関から認定されるに至っています。本学の卒業生として、喜ばしい限りです。

演習テーマ数は80、2日間で約7,100名の子供さんが来場しました。前年よりやや来場者数が減少したため、来場者はゆったりとした雰囲気の中で実験などに参加することができ、その満足度は高くなっていました。子供たちが大いに理科学を楽しみ歓声を上げている姿が印象的でした。

## ■多くの校友が来場して楽しんでいました！

今回も、多くの校友が来場していました。かつて生徒や学生として科学教室の指導する側として演習テーマに支援参画した皆さんがその時の仲間と合流したり、後輩が参加する演習を手伝いつつ理科学実験を楽しんだりしていました。また、その校友が伴侶を得て夫婦になり、父親や母親になり、あるいは祖父母となり、伴侶や子供そして孫を伴って母校に訪れ、演習テーマを楽しむ姿が多く見られました。当日のヒアリング調査では、実に成人来場者の20%以上が校友であり、その半数以上が子供や孫を連れての来場でした。

## ■校友会ふれあいコーナーでの交流も定着しました！！

今回も、校友会は科学教室の会場(Cキューブ1F・学生ラウンジ)に「校友会ふれあいコーナー」を設置しました。同ブースには校友会事務局員や学園連携部部員が常駐し、日頃の校



校友会ふれあいコーナー

友会活動を紹介するパネルの展示・説明や資料の展示・配布等を行うと共に、来場している校友達が待ち合わせしゆっくりと語り合うなどの交流の場を提供することが出来ました。次回もより充実したものにしていきますので皆さんのご利用をお待ちいたします。

## ■校友会支部や同窓会、校友有志参加による演習テーマが目されました！！

今回は、校友が直接支援参画する演習4テーマが展開されました。①「飾り炭を創ろう!」: 西東京支部主催、②「君はスーパー竹とんぼに勝てるか!」: 愛知県支部主催、③「君は名探偵!〜ルミノール反応を体験しよう!〜」: 化学系同窓会主催、校友会と大学との合同企画演習テーマとなった④「高分子を使ってボールをつくろう!」です。④の演習責任者は望月 千尋先生(校友)が務められ、副責任者を矢ヶ崎 隆義学園連携部員が担当して次の2つの実験を行いました。1つはマイクロカプセル技術を使ってカラフルボールをつくる「人工イクラづくり」、もう1つは医療材料の性質を利用した「スーパーボールづくり」でした。これら4テーマで延べ1,427名の子供たちが大いに楽しみました。いずれも、参加者に対するアンケート調査で好評でした。



## ■在学生との交流が行われました！！

科学教室の終了後、校友会関連の演習テーマの支援参加学生103名と校友24名との懇親会が開催されました。会には、矢ヶ崎先生の後任である関 志朗先生と桑折先生の研究室の学生さん17人も加わりました。次年度以降の校友会との協力関係が約束されました。楽しい交流の場となった懇親会を通して、支援参加学生諸君の校友会活動への理解が深まり、併せて校友会活動への参画誘導も行われました。尚、懇親会の費用は、校友会員有志からのカンパによって賄われたことを記して謝意とします。

このように、夏の科学教室には校友会も積極的に参加しております。まだ来場されたことのない校友の皆様、今年の夏は、是非、地域の“夏の風物詩”と言われるまでに大きく育った「科学教室」にお出でになりませんか！！

## 全国大会報告

# 工学院大学校友会全国大会・北海道大会を終えて

北海道大会実行委員長 稲田 光男

北海道における全国大会の要望は早くから要請されていましたが、北海道拓殖銀行の経営破綻による、北海道経済の立ち遅れもあり、開催にはなかなか踏み切れませんでした。しかし、今回を逃しては、今後とも全国大会の開催は不可能と判断し、無理を押し開催しましたが、参加者は200名を超え、南は沖縄をはじめ全国各地より多くの校友会会員が参加され、無事に終了できましたこと、お礼を申し上げます。

当初は、少ない人数での計画立案から始め、手作りの大会を目指しました。新千歳空港とも交通アクセスが良好な札幌は、北海道における中心都市であり、全国各地より集まりやすいということで、ホテルポールスター札幌を会場に、2017年9月9日(土)16時より開催しました。参加者に「四季の移り変わりを楽しみながら、大地の恵みを堪能し、明日への活力をたくむ北海道大会」とのテーマの下、夏は短く、秋の季節は穏やかにして大地の実り多く、海の幸も豊富にして、「大地の恵みを堪能し」、食料の宝庫を実感してもらうために、懇親会の食材は北海道産の食材にこだわり、抽選でカニなどのお土産を提供しました。参加者の親睦と連携を深めるとともに感動をすこしでもお伝えできたでしょうか。

また、北海道は、古くからアイヌの人々が住まい、固有の言葉であるアイヌ語、ユーカラや伝統的な踊りなど、独自の文化と歴史をもち、自然の恵みを中心とする狩猟や漁撈・採集生活を営んでいましたが、明治時代、本州から移民を受け入れる植民政策や、伝統的な生活慣行などを制限する同化政策の結果、多くの民族文化が失われてし

まいました。全国大会の記念講演(八幡 巴絵講師)「アイヌの歴史と文化」は、先住民族を理解していただく良い機会になればと企画いたしました。

ムックリの祝奏やマレウレウのアイヌ伝承歌はアイヌの文化の理解の良い機会になるかと思えます。また、アイヌの人々の信仰の「すべてのものに神が宿る」という考え方は、日本人の神道にも通じるものがあると思えます。

また、平岸天神による「よさこいソーラン」は、高知の「よさこい」と北海道の「ソーラン節」を融合させ発展させたものですが、北海道で新しく進化した文化とこの迫力を感じていただけましたか。

オプションツアーは、札幌市内観光コースも用意していましたが、参加人数が少なく余市・小樽コース(39名)のみとなりました。

校友会旗を利用したため、集合時間に遅れたり迷子になる人もなく、また小樽ではツアーに参加していない人も合流したりとおおいに役に立ちました。

最後に、全国大会・北海道大会によって、会員の親睦と連携を深め、さらに校友会及び支部の活性化を図っていききたいと思っています。



# 新春の集い2018 報告

同窓会組織部 部長 小澤 和重

2018年1月7日(日)に「新春の集い2018」が開催され、465名もの校友及び関係者が新宿キャンパス1階アトリウムに集まりました。

開宴前の時間を利用して集合写真の撮影を行なった後、高校同窓会の内野さん(同窓会組織部)、機械系同窓会の坂口さん、化学系同窓会の川井さんによる華やかな司会進行で「新春の集い2018」がスタートしました。

同窓会組織部の小澤部長からの開会宣言に続き、校歌・学園歌斉唱ではグリークラブOB会、樹輪の会、アカベラサークルΣ(シグマ)の皆様がステージから美しい歌声を披露してくださいました。その後、学園関係者紹介、校友会の田中会長挨拶の後、学校法人工学院大学の後藤理事長から祝辞を頂き、鏡開きは工学院大学の佐藤学長の御発声で行われ、和やかに歓談に入りました。歓談中、昨年大活躍しました工学院大学ソーラーチームの活動報告も行われました。

メインイベントは今回初の試みになりますが、アトリウム4層吹抜けの大きな壁面を生かした「プロジェクトマッピング」を行いました。会場が暗転されると壁面に様々な映像が投影され、アトリウムに設置されています渡邊 洪基先生、古市公威先生の銅像が踊り出し、賑やかな音

楽と共に新年を祝いました。その後、ドローンが来場者を上空から撮影した映像がスクリーンに映し出されると、会場のあちらこちらから歓声が沸きました。

恒例の「お楽しみ抽選会」では、当選番号の発表を電気系同窓会の惟村さん、安宅さんにお願ひし、会場を盛り上げて頂きました。

中締めは同窓会組織部の鈴木副部長の音頭で江戸一本締めが盛大に行われ、終演となりました。その後もファカルティクラブで行われました2次会にも多くの方が参加され、校友同士が交流を深められていました。

最後に、この集いの趣旨にご賛同頂き、参加して頂いた学園関係者の皆様、景品を提供して頂いた校友各企業、各同窓会、個人の皆様に心より御礼申し上げます。



## 学園 Topics

このコーナーでは、学園、附属中学校・高等学校及び大学の近況をご紹介します。

学園関連のトピックとして、八王子キャンパス新2号館の竣工、学園広報誌「窓」の広報サイトへの移行、八王子商工会議所との包括連携協定締結の3件をご紹介します。次に、附属中学校・高等学校関連のトピックとして、中学の英語教育への取り組み、テレビドラマ撮影への協力、国際平和映像祭への参加、高校の新教育プログラムスタート、産学連携プロジェクトへの取り組みの5件をご紹介します。そして、大学関連のトピックとして、大学ソーラーチームの世界大会完走、NHK学生ロボコンへの出場、産学連携イベントへの出展、先進工学部の新専攻設置、鳥人間コンテストへの出場、防災イベントの開催、産学連携による公式野球部木造倉庫完成の6件をご紹介します。

## 学園

### 2017年3月、八王子キャンパス 新2号館が竣工

2号館1階は、情報学部の授業で使用する3D映像スタジオ、音響実験評価室、収録スタジオ。2階に配置された家具はすべて可動式で、学生が自由にレイアウトして、個人、グループ、講義形式などアクティブな学びに対応できるスペースです。バスロータリーと隣接し見渡しの良い設計となっているため、今までの駐車場と並んでいた時間を大幅に短縮、バスが到着するまでの時間を有効活用することが可能になりました。3階は学習支援センターのサポートを受けられるだけでなく、グループ学習もできるフロア。4階にはデジタルアーカイブが充実した新しいスタイルの図書館とパーソナルな学習スペースが豊富に用意されたフロアが完成しました。2・4階は附属中高生にも開放され、様々な形の学びの場として活用されています。



### 学園広報サイト「窓」へ生まれ変わりました

創立130周年を迎えた2017年、学園広報誌「窓」は、学園広報サイト「窓」となりました。このサイトでは、「窓」とおして学園に関する活動や出来事に光を当て、様々な視点で本学の魅力を紹介しています。是非ご覧ください。

<https://www.kogakuin.ac.jp/mado/>



### 工学院大学と八王子商工会議所が 包括連携協定締結式を開催

2017年10月17日(火)、八王子商工会議所にて工学院大学と八王子商工会議所による包括連携協定締結式を開催しました。今回の協定を通じて、本学学生による八王子発のものづくりや地域企業との連携等について更に発展していくことが期待されます。



## 附属中学校・高等学校

### 2017年4月1日(土)、工学院大学附属中学校が 日本初のCambridge Englishスクールに認定

昨年までの取り組みと実績が評価され、日本で初めてCambridge Englishスクールの認定を受けました。

本校ではケンブリッジ大学出版発行の教材を採用しています。Uncoverは身近な話題から社会問題まで多彩なTopicを取り上げており、4技能をバランスよく習得できる構成になっています。また国際的な基準CEFRに完全準拠したケンブリッジ大学英語検定も行っており、「Reading」「Writing」「Listening」「Speaking」のレベルチェックに活用しています。

日本初のCambridge Englishスクールとして教材と試験の両面でケンブリッジとの連携をより一層図りながら、英語教育をさらに強化していきます。



### 日本テレビ系土曜ドラマ 「先に生まれただけの僕」の撮影などに協力

日本テレビ系土曜ドラマ「先に生まれただけの僕」における「アクティブラーニング」の監修を工学院大学附属中学校・高等学校が行いました。さらに、校舎での撮影等にも協力しました。



### 「国際平和映像祭」のファイナリストに選出

2017年9月18日(月)、国連平和デーにちなんで行われた「国際平和映像祭」のファイナリストに中学2年B組のチームが選出されました。

中学2年生では、「夢工祭」、「プロジェクト・ツアー」に向け、「ビデオ・プロジェクト」を推進し、各チームが「東北」や「ヒロシマ」を意識しつつ、約5分間のオリジナル・ビデオ作品を制作しました。その中で、生徒の投票で選ばれた3作品を「国際平和映像祭(UFPFF)」に出品したところ、「平和 ～Peace～」が大学生や一般の方の作品と肩を並べ、ファイナリスト11作品に選出されました。



### 工学院大学附属高等学校に 「新ハイブリッド」4コースを発表

工学院大学附属高等学校は、グローバル社会で主体的・協働的に活躍できる人材の育成を目指し、ハイブリッド4コース体制を2018年4月からスタートしました。それぞれの特色あるコースで、生徒の可能性を最大限引き出す教育を実践します。これを受けて、2017年6月14日(水)に記者発表会を開催しました。

2018年4月から、ハイブリッド文理先進コース/ハイブリッド文理コース/ハイブリッドサイエンスコース(医歯薬理工)/ハイブリッド国際コースの4コース体制となり、2020年から始まるグローバル高大接続を見据えた教育プログラムを行います。多様化する世界に目を向け、知識・技能を活用し、主体的・協働的に活動できる、世界から必要とされるグローバルリーダーを養成する教育を進めていきます。



週に1度工学院大学新宿キャンパスで行われている授業の様子(ハイブリッド国際コース)

### 工学院大学附属高等学校の授業「デザイン思考」で 横浜銘菓「ハーバー」のオリジナルパッケージをデザイン

ハイブリッド国際コース(高校1年3組)の生徒たちが、株式会社ありあけとコラボレーションし、横浜銘菓でお馴染みの洋菓子「ハーバー」のパッケージデザインを手がけました。



今回、高校1年ハイブリッド国際コースの『デザイン思考』では2017年5月に株式会社ありあけとのコラボレーションが決定し、生徒たちは文化祭までに納品ができるようスケジュールを立て、商品企画に取り組みました。社員の方へ直接ヒアリングを行い、実際に「ハーバー」を試食する等してパッケージデザイン案を練り上げ、2017年9月23日(土)・24日(日)に開催された文化祭「夢工祭」ではオリジナルパッケージ商品を自分たちの手で販売しました。実際に企画・販売を経験したことで感じたことや気付いたことを授業内で振り返り、その後の営業・販売活動につなげています。

# 大学

## 工学院大学ソーラーチームが 世界大会に参戦、豪3,021kmを完走

学生プロジェクト『工学院大学ソーラーチーム』が、2017年10月8日(日)～15日(日)にオーストラリアで開催された世界最大級のソーラーカーレース「2017ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ」に参戦し、アクシデントやレース途中の悪天候などの影響を受けながらも砂漠地帯を含む豪大陸3,021kmを6日間かけて完走。チャレンジャークラス7位でゴールしました。

2017年6月29日(木)に開催した新車両お披露目記者発表会では、チームの応援大使としてタレントの足立 梨花さんが登場し、最新車両「Wing」のデザインや学生の一生懸命な姿に驚きを見せるとともに、チームを激励しました。

ソーラーチームの学生たちが開発・設計から製作まですべてを手掛け作り上げた「Wing」は、世界大会終了後も「SAMPE JAPAN 先端材料技術展2017」や「エコプロ2017」などに登場し、注目を集めました。



「エコプロ2017」帝人ブースに展示される「Wing」



応援大使に就任した足立 梨花さんとソーラーチームメンバー



## 工学院大学ロボットプロジェクトがNHK 学生ロボコン2017で大健闘

2017年6月11日(日)、大田区総合体育館(東京都)を会場に『NHK 学生ロボコン2017～ABUアジア・太平洋ロボコン代表選考会～』が開催され、全国から24のチームが出場しました。工学院大学ロボットプロジェクト(以下、KRP)は、事前の選考を通過し、10年連続で本戦への出場を果たしました。

KRPは、予選リーグでシード権を獲得。大阪工業大学、九州大学と対戦しました。大阪工業大学との対戦は負け、九州大学との対戦では勝利したものの3試合中2試合を勝利した大阪工業大学が準々決勝に進み、KRPは予選敗退となってしまいましたが、デザイン賞を受賞することができました。



デザイン賞の賞状・盾と共に

## イノベーション・ジャパン2017でシーズ展示数2年連続の全国私大最多

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が主催する、国内最大規模の産学マッチングイベント『イノベーション・ジャパン2017～大学見本市&ビジネスマッチング～』において採択された14テーマを出展しました。これは、全国私立大学の中では第1位の出展件数で、産学連携を大学の「第三の使命」として位置づけ、研究活性化を推進し社会貢献を目指してきた成果です。



## 2019年4月、新しい2つの専攻「航空理工学専攻」「宇宙物理学専攻」記者発表会を実施

2019年度より先進工学部において【航空理工学専攻】と【宇宙物理学専攻】の新専攻を設置します。これに伴い、2017年12月14日(木)、新宿キャンパスで記者発表会を開催しました。同学部のさらなる深化と本学のドメイン拡大、さらには社会的ニーズへの対応を進めていきます。



## 学生プロジェクト Birdman Project Wendy が鳥人間コンテスト2017に出場

2017年7月30日(日)、学生プロジェクト Birdman Project Wendyが『鳥人間コンテスト2017』の人力プロペラ機ディスタンス部門に出場しました。同コンテストへの出場は、2010年以来の7年ぶり5回目となりました。



学内の機器を活用し、学生自らが製作した新機体「燈火(ともしび)」は、7年ぶりに琵琶湖の空へ飛び立ちました。記録は41.10m。コンテスト出場経験のあるメンバーがいない“全員初挑戦”という状況でのチャレンジでした。

琵琶湖で流した悔し涙を糧に、次年度の出場に向け Birdman Project Wendy は新体制で動き始めています。

## 工学院大学、VR連動の地震動シミュレーター体験や講演会で“新宿ならではの防災”を推進!

2017年11月6日(月)～22日(水)、工学院大学の新宿キャンパスを中心に『防災WEEK2017』が行われました。『新宿ならではの防災』とテーマを強く打ち出し、駅周辺の事業者・勤務者・買い物などで訪れる方に対して、実際に災害が起きた際の混乱防止を目的に、体験型イベントや講習会、企画展示を開催しました。

これらのエリア防災の取り組みは、2016年度の文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」採択を受けてさらに加速しており、大学の建築学部と情報学部の専門性を生かした実証実験や防災活動を支援するツールの開発を行っています。



## 『K×Kプロジェクト』活動第1弾で完成した「硬式野球部倉庫」の引き渡しイベントを開催

『K×Kプロジェクト』活動第1弾で完成した「硬式野球部倉庫」の引き渡しイベントを2017年12月20日(水)、八王子キャンパスで開催しました。『K×Kプロジェクト』は、株式会社結設計室、株式会社東京チェンソーズと間伐材購入協定を締結し、建築学部の学生を中心に地元多摩産の木材を活用した八王子キャンパス内の整備を手掛ける活動で、2016年11月に開始しました。



# 研究室同窓会活動紹介

～研究室単位で活動をしている同窓会を特集します～

## ■機械系学科「スポーツ流体研究室（伊藤 慎一郎 教授）」

2014年機械工学専攻  
修士課程卒

加瀬 光輝



同窓会活動として研究室OBが参加する行事は大きく分けて3つあります。

5月の富士吉田セミナー校舎で行われる卒論合宿、8月の八王子キャンパスで行われる科学教室、12月の新宿キャンパスのファカルティクラブで行われるホームカミングです。それぞれ開催場所が異なるので、久しぶりに訪れると施設の変化に驚かされます。

これらの行事はお世話になった恩師の先生や共に切磋琢磨した先輩、同期、後輩へ近況報告をする機会となっています。現役学生との交流をする場でもあり、自分が取り組んだ研究テーマの進捗を知ることができ、学生時代を思い出すことができます。

特にホームカミングは恩師の報告を聴講できるので、最新技術や仕事に繋がるアイデアが生まれます。また、OBは仕事や人

材募集の報告ができるので、他社で奮起する卒業生からは刺激を受け様々なことを学び、視野を広げることができます。

勤務地が遠方で同窓会活動に出席することができないOBも多数いるので、活動回数を増やすことや、出張先で飲みに行くなど、親睦を深めていきたいです。

この研究室の出身者は自動車好きが多く、現在も連絡を取り合いツーリングに行っています。関わりがあった学年だけではなく、異なる年代の方々と縦の繋がりを広げていきたいです。



富士吉田セミナー校舎にての卒論合宿へのOB飛び入り参加



富士スピードウェイでの先輩達への狹野の愛車「86」自慢



誘い合わせたOB連の軽井沢への涼みドライブ



年末ホームカミング（研究室現役学生・OBとの交流会）

## ■電気系学科「高木研究室」

工学部電気電子工学科  
教授 高木 亮



2000～2006年度在籍の曾根 悟教授の研究室を引き継ぐ形で現在に至る私の研究室では、幸いにしてOBたちと現役学生たちとの交流が比較的密に行われてきました。かつてその軸だったのが、研究室の伝統行事、夏休みの白樺湖合宿で、末期には学生たちを大幅に上回る数のOBが参加する盛況ぶりでした。

学寮の惜しまれつつの廃止を機に、2016年に「高木研OB会」を研究室OBたち（残念ながらOGは少数でして…）が立ち上げてくれました。中止を余儀なくされた合宿にかわり、夏には宿泊なしの発表会+懇親会を新宿キャンパスとエステックビルの食堂で行っていますが、合宿より足を運びやすくなった部分もあるようで、相変わらず多くのOBの参加があり、研究室運営

上も大変ありがたいイベントになっています。教授ご退職から10年以上経った現在も非常勤特任教授として工学院大で活動される曾根先生にもお越しいただいており、懇親会では古くからのOBたちとの会話にも花が咲きます。

OB会主催のイベントも年1回ほどのペースで企画していただ



2017年度夏休み発表会後の懇親会（曾根特任教授のスピーチ）

いています。最近の例としては2017年11月開催、研究室10周年記念の食事会がありました。写真の背景などからわかる方も多いと思いますが、鉄道の研究室らしい場所ということで、旧

万世橋駅跡、マーチ・エキュートのホーム跡で営業しているレストラン Platinum Fish での開催でした。



2017年度夏休み発表会懇親会後の集合写真



2017年11月食事会



2017年11月食事会

## ■建築系学科「望月洵研究室のその後」

1974年工学部建築学科建築学コース卒 河野 工

望月洵研究室は1964年に鈴木 久さん(鹿島建設)を迎えた時から始まりました。1966年には宮澤 健二・大塚 毅さんたちが研究室に足を踏み入れて、2001年まで38年の歴史が展開しました。指導学生1部341名、2部140名、院生40名、工学博士論文審査4名を数えます。先生は1934年3月6日(火)、三島に生まれ、東北大学で志賀 敏男教授に師事し、早稲田大学で修士・博士課程で研究、「連層耐震壁の強度に関する研究」で学位を授与されました。

本学とは1956年にお兄さまの重さん(当時武蔵工大)の紹介で本学助手になられたのが縁であり、教育・研究に勤しみ、傍ら、東京理科大・都立大等でも教鞭をとられました。

先生の「魂」は、教育者として若者に建築構造の神髄を伝えるため黒板に向かわれ、例えば波多江先生が授業で見せたトロハの競馬場の断面を描きそこにモーメント図を書けという、建物を見て力の流れを感じ、と感性を磨かせました。磨ききれない学生を叱ることもありませんでした。計算ができるより、構造の挙動を理解することに主眼が置かれていました。研究者としてシェル構造・耐震壁に挑み、構造技術者として優れた建築を世に産み出すため設計者に鼓舞する姿を見せ続けてくれました。日本建築構造技術者協会学術委員、本学大学評議員・大学院運営委員・教職員組合委員長などの要職にも就かれ、「NICHE」にも大学の近況を寄稿されて卒業生とのパイプを築いていました。

セルト・アアルト・ルドルフではなく、トロハ、ネルヴィ、坪井 善勝、横山 不学、松井 源吾、川口 衛などの構造家を教えていただきました。「涵養」などと寺田 寅彦の随筆でも読んでいなければわからない言葉を平気で使うのは、三島駅南口からすぐの名勝「楽寿園」に隣接する「本覚寺」(本堂設計：波多江 健郎名誉教授)住職の家に生まれたからかもしれません。私が大学四年の夏、上

越市の7階建百貨店の構造設計を戸田建設に内定していたK君とするように言われました。積雪荷重などの考え方を行政庁の指導課に電話で尋ねたりしてRC造の柱・床を設計しました。1階に必要な柱の鉄筋本数を割出し、上階に行くにつれ本数を変更せずに鉄筋径を変えていきました。すると、帰りの電車(東海道線)の中で「鉄筋の種類(径)はなるべく少なくしないと現場が混乱するぞ」と教わりました。最終的には事務所のTさんが纏めたのだろうが晩秋に大金を頂きました。そのお金で、皆で呑みました。駅のホームで電車を待ちながら駅前の工事建物の様子を見て、いまだラチス梁で設計しているのだな、とつぶやかれました。カバン持ちとして「大栄プレタメゾン」の竹中工務店の現場に配筋検査に同行し、施工ミスしやすいポイントをチェックされる先生をつぶやきを必死でメモしまくったこともあります。これらのことが施工会社に勤めてから生涯役に立ちました。

「君っちらは、掃き溜めに居るんだから失敗も何も恐れることはない。前にしか進む道はないのだから」と笑いながら背中を押してください、私たちは構造設計事務所・施工会社・各省庁など社会に出ていきました。「卒業記念パーティ」「卒業記念旅行」「出版記念パーティ」「構造系同窓会」など、学生・卒業生は、犬や馬が立木に繋がれるように、望月 洵先生という巨木に強い絆で縛られています。



2018年1月7日 望月研・宮澤研新年会



シンボルマーク・「望」 甲骨文字

# 機械系同窓会活動紹介

～機械系同窓会は愉快に有意義に～

## 会長挨拶

機械系同窓会  
会長 田中 英生



機械系同窓会会長の田中です。

昨年は学園の130周年と言う長い歴史を祝った年でしたが、いよいよ2018年度がスタート致しました。

1年を振り返りますと、機械系同窓会イベントとしてすっかり定着しました「活躍するOBの報告会」と「秋の集い」に加えまして、新たに若手の皆さんが企画しました「機機械会」(キキカイカイと読みます)と言うイベントがスタート致しました。これは何と本物の授業を学生さんと一緒に受け、その後先生と学生の皆さんと懇親を図ると言うもので、大変好評裏に推移しております。

又、機械系同窓会も校友会の方向性と足並み揃えて、他の同窓会との連携や学園との密度の高い交流に注力していますが、更なる工夫で、特に他の同窓会の皆さんの動員が図れば良いと考えています。

最近卒業直後の若い学生さんの参加が少しづつ増え始め、広い年齢層を網羅する人の分布は人材の連続性と言う意味で大変歓迎すべきものであります。

また、イベントなどで「卒業後に初めて学校のイベントに来ました」と言う年配の方にお会いするとうれしくなります。

こう言った「更なる活性化」に直結する動きもみな幹事の皆さんの日頃の努力の賜物でありまして、この勢いを途切れさせることのないように今年も頑張っていきたいと思います。

## 機械系同窓会2017年度の活動内容

### ■第3回及び第4回機機械会(機械系教職員との連携・交流会)の開催

2016年度2回開催した教職員とOBの交流会の試みは2017年度は学生も交えての開催となりました。内容の要旨は機械系同窓会のホームページにも掲載しておりますが、開催の都度内容が豊富となり充実してきました。

①第3回は8月4日(18:30より20:30)に新宿キャンパス28階校友会談話室にて開催しました。

講師は工学部機械工学科の立野 昌義 教授で、「材料の力学について」という演題でご講演を頂きました。



立野 昌義 教授のプレゼンテーション



材料力学の実験中の OB

講演は、最初に立野教授の自己紹介があり、材料とその強度に係る力学の特性を参加学生もOBも共に興味を持つように配慮した実験をもとに講義されました。実験には手近な材料を用い楽しく学べる方法には感心させられました。

②第4回は11月24日(17:30～20:00)同じく校友会談話室にて開催されました。

講師は工学部機械システム工学科の見崎 大悟 准教授。

今回は講師の見崎先生のご意向で実際の授業に我々OBも参加して学生と共にコンテスト形式でモノづくりをするという画期的な形態をとることになりました。

ベースはCreativeな設計開発を成功させるには、多くの人と意見を交換する接触(Interview)とユーザー視点から各種のアイデアを提案できること、将来を見据えたエンジニアリングとアートの組み合わせによる発想が今後さらに重要であるということです。



講師の見崎 大悟 准教授



実習開始 学生とOBが真剣に取り組む

## ■活躍するOBの報告会

「第12回活躍するOB報告会」は2017年7月8日(土)17時より20時まで新宿キャンパス高層棟 28階「第一会議室」にて開催されました。

講演者には、1974年 機械工学科卒業の岡崎 孝宜 (株)東京理工舎代表取締役役をお願いし、演題は、「気が付けば、93年目、アナログと共に」。



講師 講演する岡崎 孝宜氏 1974年 機械工学科卒業

電圧調整バリタップから始まる同社の製品開発、製造及び販売に至る活動状況のお話を頂きました。

中小企業が東南アジア等へ進出する場合には、それぞれの国の情勢と現地と日本との関わり合いなど良く調査しておくことや、当事国以外に第三国の関連を考慮することなど、現地での製造等の実体験を踏まえた説明は参加者に大いに参考になり感銘を与えるものでした。

## ■機械系同窓会秋の集い

2017年度「機械系同窓会秋の集い2017」は10月21日(土)12時45分より工学院大学新宿キャンパス28階 第1会議室にて開催されました。

出席者は40名の機械系同窓会の会員と電気・電子同窓会会員及びプロジェクト発表の学生8名でした。

### 1. 学生プロジェクト

#### ①学生プロジェクト鳥人間『Birdman Project Wendy』

今回は水野 明哲 氏(前学長)も協力してプロペラ機部門に出場することができました。

#### ②KRP『工学院大学ロボットプロジェクト』

一回戦の対戦相手に敗れてしまったが10年連続NHK杯に出場している。

#### ③みつばち『みつばちプロジェクト』

地域と密着して環境イベントに参加するなど、積極的に活動している。

以上3件が報告されましたが、良く頑張っているとOBの声援もありました。

### 2. 恒例の秋の集い記念講演

伊藤 慎一郎 工学部機械工学科教授(工学博士 大学院機械工学専攻 専攻長)による講演で演題は「動物の動きと人間の動き 一動きと形一」。

講演要旨は、動物の動きから人間の動きに応用できるものがあるかどうかについて。伊藤先生は「すっぽん」が最大効率モードで泳ぐときと、敵に襲われたときや餌をとるときにエネルギー効率を度外視した最大推進モードで泳ぐときの差異を発見しました。このことから、「すっぽん泳法」が水泳競技において重要なことを指摘し、これによって日本の選手が大いに記録を伸ばして優勝した例を説明されました。

その他、運動系における魚類と哺乳類の差異や赤身の持久筋と白身の瞬発筋の違いなど巧みな話術と意表を突く動画、さらにはウチワや手作りの模型を用いて聴講者の理解の手助けをしてくださいました。



伊藤 慎一郎 講師による講演



「秋の集い2017」伊藤先生、プロジェクト発表の学生も一緒に集合写真

### ■今後の方針

機械系同窓会では今まで同窓会員同士の親睦を重視してきましたが、教職員及び学生も一緒に交流し、知識の取得並びに情報の交換などを通じて、相互に学べる新しい企画のモデルを追求しようと考えております。このような場をつくることによって学園の向上発展の一助になることを期待しております。

# 化学系同窓会活動紹介

～科学教室に演示参加～

## 会長挨拶

化学系同窓会  
会長 志村 豊



化学系同窓会長の志村 豊(1973年工業化学科化学工学コース卒業)です。どうぞ、宜しく御願ひ申し上げます。

化学系同窓会員は1万人を超えていて、皆さん、日本各地、そして、世界各地で活躍されています。化学専攻の卒業生が就職する先は様々です。本学の化学系学科も、以前は無機化学、有機化学、化学工学と分類されていましたが、最近では、生命化学、応用化学、環境化学に編成し直され、化学専攻の学生が学ぶ専門科目も、生命・医療分野、食品分野、環境分野、機械工学の分野、建築設備との共通分野、或いは、電気化学の分野とか、様々な幅広い領域に及んできています。

また、卒業生の就職先も、広範囲になってきました。

化学系同窓会は、すべての同窓会員の皆様の御期待に応える様に、より一層活動範囲を広げていきたいと思っております。どうか、今後とも、皆様の御支援、御鞭撻を賜りたく、宜しく御願ひ申し上げます。

## ■科学教室に演示参加

工学院大学化学系同窓会では、2年前から八王子キャンパスで「わくわくサイエンス祭科学教室」に参加しています。演示テーマは「キミは名探偵!～ルミノール反応を体験しよう!～」です。ルミノール反応は科学捜査で血痕の検査に使われています。血液中に含まれるヘモグロビンが触媒となりルミノールと過酸化水素水が反応して青色の発光を示すルミノール反応を、科学教室ではコンビーフや大根などの身近にある食材を用いて実験で確かめるのです。子供たちは、白衣、保護メガネ、サージカルマスク、手袋を着用し、事前にスポイトなど器具類の使い方や実験の手順を学び、安全教育も実施します。実験で何を見て、何を感じてくれるか? 期待に満ちた子供たちの眼は輝いています。そして、実験を終えて場内が明るくなったとき、そこには、どこから見ても一人前の化学者の顔をした子供たちがいます。演示にあたっては、ルミノール反応を体験した子供たちが、少しでも化学に興味を持ってくれば嬉しいとスタッフ一同が思っています。

科学教室では、企画立案から演示までの全てを若い化学系同窓会の会員が運営しています。学生時代に体験した科学教室で子供たちと一緒に味わった感動を、もう一度味わってみたいと云う純粋な気持ちが、彼等のエネルギーとなり背中を押しています。

科学教室の良さは、子供たちの人材育成と云う本来の目的と、もう一つ、教える側の若い世代が持つ達成感とか満足感、そして、自らの成長を自覚する事にあります。

科学教室で子供たちに教える際、教える側(スタッフ)が子供たちの立場に立って、どの様に説明すれば理解してもらえるか、実際に教えてみて、それが上手いかなければ教え方を修正して、また教えてみて、その日の演示の終わりに皆で反省会を開いて、翌日の段取りを取決め、の繰返して、演示の仕方を常に

微調整しています。

子供たちに、どうしたら興味を持ってもらえるか? どうしたら面白いと思ってもらえるか? どうしたら理解してもらえるか? 何を体験から得てもらいたいのか? その思いが子供たちに伝わっているか? スタッフの努力は、演示を行う二日間の科学教室の間だけではなく、それまでの準備に費やす数か月間と、科学教室が終わった後の反省会、更に、翌年に向けての検討会へ繋がります。企業における生産管理や品質管理と同じPDCAサイクル(plan-do-check-act cycle)によって、演示内容のブラッシュアップを図ると同時に、スタッフ相互の認識を共有する事が、とても重要です。



昨年の「キミは名探偵!～ルミノール反応を体験しよう!～」では、私は口髭をつけて探偵事務所の所長役でお手伝いをしました。ルミノール反応の演示を体験した子供たちは、八王子キャンパス内で志村所長を探し回るのでありますが、口髭をつけた志村所長は直ぐに見つけられてしまいます。子供たちは立派にルミノール反応の演示を体験した名探偵ですが、名探偵である事を証明するスタンプがあれば、良い記念になります。名探偵は志村所長を見つけたら、合言葉を言ってスタンプを押してもらうのですが、ある子は、なかなか志村所長が見つからずに、相当長い時間、志村所長を探し続けたみたいです。やっと見つかって、合言葉の「ルミノール」を言い、スタンプを押してもらっ

た時の、その子の笑顔がとっても可愛くて印象的でした。でも、親御さんの方は、やっと見つかったとホッとした顔をしていましたが疲れ切ってしまったみたいです。それからは、所長はあまり遠くに行かずに、演示会場の近くの椅子に座って子供たちを待つ様にしていました。子供たちにとっては、所長が直ぐに見つかるので物足りなかったかもしれません。

ルミノール反応は暗くしないと青色の発光が見えづらいので、真っ暗な部屋の中で実験をします。実験中は、明るいとルミノール反応の青色の発光が見えませんが、部屋の中が暗いので子供たちの顔も暗くて写真撮影が困難です。親御さんにとっては、折角の我が子の白衣姿を撮影出来なかったと云う結果になってしまいます。親御さんにとっても満足度の高い演示にするには、どうしたら良いのか。

来年は、演示内容にどんな工夫をこらして臨むのか、スタッフの活躍が今から楽しみです。そして、来年もまた、子供たちの喜ぶ顔が目に見えます。

子供たちが楽しく実験を体験し、何故？どうして？と疑問を持って、より深く理解する為に、スタッフの皆さんに、いろんな事を考えてもらえたら嬉しく思います。

子供たちの質問や疑問、「化学反応で発光を示すのは分かったけど、もっと強く光る実験をしてみたい」とか、「何で青く光るのか、何で赤く光らないのか」とか、「ルミノール反応の光は、蛍の光と、どう違うの」とか、実験を経験したからこそ、もっと欲張った実験をしてみたいの思いや、いろいろな疑問に対して、如何に対応したら良いか、スタッフは洗練された回答を準備しておかなければならないので大変です。



今後は、できればですが、ルミノール反応以外の演示テーマについても検討してチャレンジしてみたいですね。例えば、「酸にアルカリを加えて中和する実験で、酸に別の酸を加えたらどうなるか」の様な、教科書では教えない無理筋の実験をしてもらい、実験の観察からヒントを得て、子供たち同士で解析してもらい、皆で考察する。とか、「未知数より少ない方程式しか与えられていない状況で、実験によって新しい実験式を作る。」とか、そんな演示テーマが作れたら面白いですが、どうなるでしょうか。

科学教室が、若い卒業生と現役の学生さんが一緒になって協力し活躍出来る場となって、次の世代に繋がってくれと嬉しいのですが、今後の展開に期待したいと思います。

同窓会は会員相互の親睦を目的としますが、同窓会活動が「誰かの役に立つ」とのメッセージが若い同窓会員に伝われば、

皆のヤル気も湧いてきて、多くの若い人たちが集まってくるだろうと実感しています。

「誰かの役に立つ」の「誰か」とは、子供たちであり、現役の学生さんであり、若い同窓会員です。そして、同窓会の長老は、若い同窓会員のサポート役に徹して、決して邪魔をしない事です。長老の役割(若い人の邪魔をしない事)が結構重要だろうと感じます。



化学系同窓会では、我々の同窓会活動が意義あるものとして、これからも継続し続ける様にと願い、その一環として科学教室を位置付けています。これからの、若い同窓会員のヤル気と新たなチャレンジに対して、大いに期待しているところです。

近い将来、科学教室を通して科学技術に興味を持つ子供たちが増え、子供たちが優秀な人材として世界で活躍することを願っています。

そして勿論、多くの子供たちに工学院大学で学んで貰いたいと思っています。

以上、化学系同窓会が取り組んでいる科学教室での活動を報告しました。



# 電気系同窓会活動紹介

～OB・OGによる就活相談会について～

## 会長挨拶



電気系同窓会  
会長 小澤 和重

電気系同窓会は電気システム工学科、情報通信工学科、コンピュータ科学科、情報デザイン学科の同窓生で構成され、同窓生数は2017年1月末現在約13,900名で、各分野で活躍しています。毎年、学部約400名、大学院約30名の卒業生が同窓生として社会に出ています。来年には応用物理学科が当同窓会に加わります。主な活動は、各分野で活躍している同窓生の紹介や学園の近況などを伝える同窓会誌「隆星」の発行、学生支援活動として資格取得支援(資格取得者延べ95名支援)やインターンシップ報告表彰(3年間で15名を表彰)を実施しています。尚、2016年度から学園主催のOB・OG交流会に同窓生が協力参加して就職支援を通じ学生との交流活動を行っております。今後も同窓生と未来の同窓生である学生のための活動を企画・継続していきます。電気系同窓会では同窓会活動に関心のある方を募集しております。連絡先：校友会事務局

## ■就活相談会の概要

### 1. 趣旨

就職活動を行う学生が、業界、業種に関する知識を深めることを目的とし、本学卒業生の中から様々な分野で活躍するOB・OGに気軽に質問する機会を設けることで、就職活動をより充実したものにしていただくという趣旨で開催されました。

### 2. 日時・場所

2017年12月8日(金) 18:00 ～ 19:30  
新宿校舎6階 B0663 教室

### 3. 内容

就職支援課からの協力依頼を受け、2017年度は電気系、情報系に限らず、機械系、化学系、建築系の12名のOB・OGが参加しました(表1)。OB・OGが自己紹介をして各テーブルに分かれた後、興味を持ったOB・OGのテーブルに学生が着席します。参加学生31名(表2)が各テーブルに分かれて席を埋め、30分間のフリートークを2セット行いました。各テーブルには就職支援課でご用意いただいたお菓子やお茶が振るまわれる中、熱気のあるディスカッションが全体を通して行われました。

表1 OB・OG参加者一覧

氏名	卒業学科・専攻	現所属
富永 崇史	機械工学科(2017年3月)	いすゞ自動車株式会社
柳沢 隆志	機械システム工学科(2001年3月)	キューピー株式会社
鈴木 杏花	環境エネルギー化学科(2016年3月)	株式会社共和電業
川崎 大樹	建築学部(2005年3月)	三井デザインテック株式会社
久禮 和彦	電気工学専攻(1970年3月)	久禮経営労務管理事務所
青井 瑛	システムデザイン専攻(2013年3月)	株式会社日立製作所
原田 大輔	情報学専攻(2016年3月)	凸版印刷株式会社
高木 龍	情報学専攻(2017年3月)	凸版印刷株式会社
飯島 翔太郎	情報学専攻(2016年3月)	大日本印刷株式会社
小島 隆史	情報学専攻(2000年3月)	株式会社ソニー・インタラクティブエンターテイメント
正木 圭	情報学専攻(2009年3月)	SCSK株式会社
高橋 輝壮	情報学専攻(2006年3月)	日産自動車株式会社

表2 参加学生数一覧

学科・専攻	人数	系列
機械工学科	2	機械系
機械システム学科	2	
機械理工学科	1	
機械工学専攻	1	
電気システム工学科	3	電気系
情報通信工学科	3	
応用物理学科	2	
電気・電子工学専攻	4	
コンピュータ科学科	1	情報系
情報デザイン学科	5	
情報学専攻	6	
化学応用学専攻	1	化学系
総計	31	-

## ■学生の質問内容傾向

私のテーブルに来ていただいた学生のほとんどは、既に自動車業界について調べているようでした。その上で、現場で実際にどのような仕事をしているのか、英語をどれくらい業務で使っているか、海外転勤があるのかなどの具体的な業務の話から、私個人が経験した就職活動の進め方や志望動機、自己PRはどのようなものだったのか、学生時代はどのように過ごしていたかなど、本イベントならではのOB・OGが在籍している企業や個人に対する質問が多かったです。OB・OGから直接有益な情報を収集したいという学生の高い意識を感じました。

## ■アンケート結果から来年度イベント開催に向けた一考察

本イベントに関するアンケートを実施いたしました。(図1~3)。

開催時期は、近年は大多数の企業が3月ごろから採用エントリーや説明会予約を開始するようなので、この時期のイベント開催は妥当だと言えそうです。一方、「夏にも同じような事を聞きたかった。」という意見もありました。秋ごろからインターンシップを実施する企業もあり、もっと前から業界研究や企業分析を進めたいという学生もいらっしゃるでしょう。そのため、本イベントは夏と冬の2回に分けて開催しても良いかもしれません。

図1 アンケート設問1

①開催時期はいかがですか？

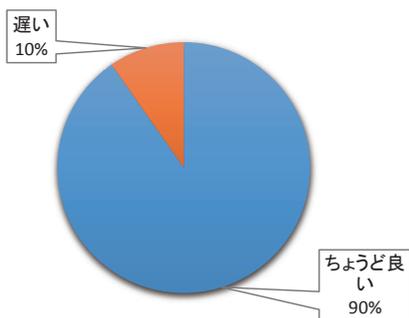


図2 アンケート設問2

②参加満足度はいかがですか？

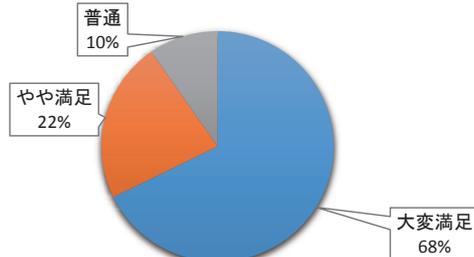
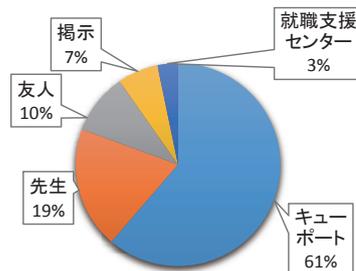


図3 アンケート設問3

③どの媒体から本イベントを知りましたか？



満足度については、イベントの趣旨から考えれば当然かもしれませんが、ネガティブな意見は1件も無く、90%の学生が大変満足またはやや満足という回答でした。「興味ある会社を受ける為に必要なことが聞けて良かった。」「知らない業界について知れた。」「OBやOGだったので先輩として話しやすかった。」など、イベントの目的が達成できていると感じられる意見を多数いただきました。今回は幅広い学科・専攻のOB・OGが参加していたので、電気系以外の先輩方の話を聞いてみたいという意見は無く、前回の反省が活かされていたと言えます。また、「自分が就活するまでに何をすべきか、気づかされた。」「この相談会がきっかけになった。」「不安が減った。」という意見がありました。就職活動をどのように進めたらよいか分からず不安に感じている学生に対し、今回のようなイベントが少しでも助けとなれば良いと感じました。

イベントの知るきっかけについては、学園ポータルシステム「キューポート」から本イベントを知ったという学生が61%、他は掲示や先生、友人、就職支援センターなどの口コミで知ったという学生がいらっしゃいました。学生の皆さんはキューポートをうまく活用出来ているようです。イベント自体がまだ2年目ということもありましたが、2016年度の学生参加数27名に対し、2017年度は31名と順調に増加しました。前回イベントの参加満足度が97%だったことが口コミや掲示物によって宣伝されたことが寄与したと考えられます。来年度は、先生方から学生に本イベントのご紹介があればもう少し参加数を伸ばせるのではと考えました。

■今後に向けた現役学生に対する期待

どのように就職活動を進めたらよいか分からない、という学生が少なからずいらっしゃいました。大学院に在籍している学生の方々は、既に就活をご経験されている研究室の先輩方や先生からアドバイスをいただきながら就職活動を進めてもらいたいです。私も当時研究室の先輩方から戦略的な就職活動の進め方をご教示いただき、複数の企業から内々定をいただくことが出来ました。学部生の方々は実際に就活を経験したことのあつた先輩など、相談相手が見つからないかもしれません。一部の学生にはお伝えしましたが、就職活動ではある意味膨大な情報の中から必要な情報を取捨選択しなければなりません。一人

で就職活動を進めるより、ご友人や研究室の先輩方と情報交換をしながら就職活動を進めると良いでしょう。

現役学生のために、このようなイベントが開催されることは他校と比べても素晴らしいことだと思います。学生の皆さんが志望する企業の内定を勝ち取れるよう、OB・OGとして今年度以降も引き続き学園と連携しながらご支援させていただきたいと考えております。

最後になりますが、2017年度「OB・OGによる就活相談会」の開催にご尽力いただきました就職支援課の皆様、今回このような機会を私に下さった電気系同窓会 小澤 和重会長、田中久弥教授、OB・OGの皆様へ感謝申し上げます。



●執筆者プロフィール

高橋 輝壮(たかはし てるあき)

略歴：  
 2004年3月 工学院大学工学部情報工学科 卒業  
 2006年3月 工学院大学大学院工学研究科情報学専攻 修了  
 2006年4月 株式会社リコー入社 複合機やプリンター関連のソフトウェア設計業務に従事  
 2017年4月 日産自動車株式会社入社 カーナビゲーションのソフトウェア設計業務に従事



# 建築系同窓会活動紹介

～海外への好奇心と、学びを還元する力～

## 会長挨拶

建築系同窓会  
会長 鈴木 敏彦



NICHE 出版会では2014年から「大学の知的資源やネットワークを生かして社会に貢献する」という理念を掲げ、大学関係に配布する同窓誌と、広く一般に流通させる書籍の2本立ての出版広報活動を行っています。前者では同窓生の仕事ぶりや、海外渡航奨励金制度を用いて海外を巡った在学生のレポートを載せ、後者では毎回異なる国をテーマに掲げ、海外の建築探訪を通じてその国の建築と歴史を掘り下げる特集を組んできました。5カ国目のテーマ国はイタリアです。明治の初め、1887年に本学を創設した渡邊 洪基、辰野 金吾、古市 公威がほぼ同時期に視察した旅程を、当時の新しい移動手段であった鉄道の歴史を交えて立体的に紹介します。

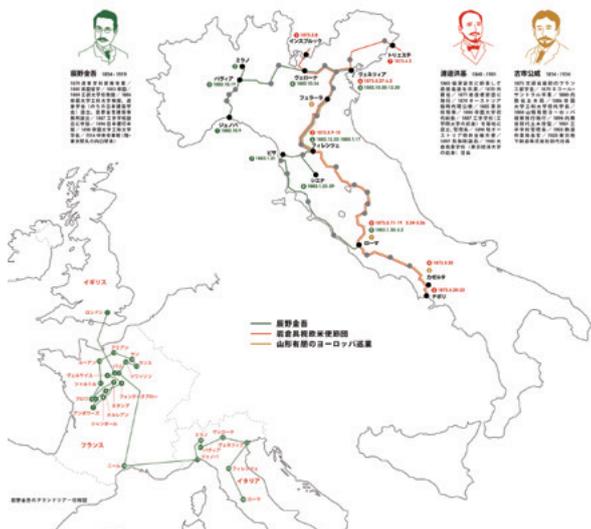
建築系同窓会の主な活動としては、「NICHE 出版会」と「建築を保存する会」の2つの活動が挙げられます。

### ■「NICHE 出版会」

今年度出版する『NICHE 05』では「イタリア建築探訪」をテーマに、以下の3つのテーマを特集しました。

#### 特集1 辰野 金吾のグランドツアー

工学院大学創設メンバーの一人である辰野 金吾は1880年から2年間イギリスのロンドンに学び、最後の1年は建築視察の旅で建築の原点であるイタリアのローマを目指し見聞を広めました。18世紀のイギリスでは貴族の御曹司を国際人に養成するためフランスやイタリアへ長期間遊学させるグランドツアーを実施していました。辰野もそのグランドツアーの成果を日本に持ち帰り、1887年に工手学校の設立に参画しています。本特集では、辰野の旅程と、ほぼ同時期にイタリアを訪問していた渡邊と古市の旅程とを重ね合わせ、鉄道という当時の新しい移動手段に注目して世紀末のイタリアを立体的に紹介します。NICHE 編集部は、辰野のジェノヴァからローマまでのイタリア視察ルートと同じ鉄道を利用して追体験しました。



特集1 辰野 金吾のグランドツアー

#### 特集2 ジョエ・コロombo 1930-1971

ジョエ・コロomboは1960年代にイタリアデザイン界に彗星のように現れ、1971年までの10年間で300を超すデザインを残し、41歳で突然この世を去った伝説のデザイナーです。単なる家具ではなく、人間を内包する場を生み出す空間性の高い家具で一世を風靡しました。ミラノ取材を通じ、ジョエ・コロombo・スタジオを引き継いだ建築家のイニャーツィア・ファパタ氏との緊密な協力の下に編集作業をすすめました。彼の作品の中でも空間性の高いデザイン69作品に焦点を当て、写真やコロombo直筆のスケッチを交え、ファパタ氏に解説を書き下ろしてもらいました。日伊バイリンガル、オールカラー160ページのジョエ・コロombo作品集が完成しました。



特集2 ジョエ・コロombo 1930-1971

#### 特集3 永遠の都ローマ

渡邊、辰野、古市の3人が等しくローマをめざしたのは、ローマがイタリアの中心都市であるだけでなく、比類なきほど高度な文化の中心地であったからです。建築ひとつをとってもそれ以後の時代を凌駕しますが、中でも古代ローマ帝政期とバロック期には並外れた建築の質と量の充実がみられます。



特集3 永遠の都ローマ

NICHE 編集部はローマの中心地区に建った5世紀の貴族の館の一室を取材拠点として、そこから徒歩でナヴォナ広場などに赴き、歴史的な中心市街地にある代表的なバロック建築を調

査しました。また、フォロ・ロマーノ、コロッセオ、カラカラ浴場から、ムッソリーニが拓いた新都市エウルにまで足を伸ばしました。本章で紹介するローマのバロック建築20景で、まさにローマが永遠の都であることを実感して頂けると思います。

### ■「建築を保存する会」

2016年に「工学院大学白樺湖学寮」の閉鎖と解体が決まりました。しかし八王子の図書館のように失われてしまうのはしのびなく、施設の新たな保存と活用を求めて組織したのが「建築を保存する会」です。工学院大学と交渉の結果、本建築は工学院大学校友会建築系同窓会に譲渡されることになりました。そこで2期及び3期工事部分を解体し減築して、シャワー室とトイレを増設、キッチン改修、家具類を刷新しました。アルヴァ・アールトに学んだ武藤 章先生が設計した北欧を思わせる空間にマッチするように、1960年代のアルテックのビンテージの家具と照明を揃えました。

2017年5月に「白樺湖夏の家」としてオープンし、動態保存を目的に会員が集まって親睦を深めています。



建築を保存する会 白樺湖夏の家

### 7月15日「第1回北欧建築デザインの夕べ」

フィンランド独立100周年を記念し北欧家具taloの代表である山口 太郎氏を講師に迎え『白樺湖夏の家』と題した講演会を実施しました。また、工学院大学名誉教授の波多江 建郎先生のご子息、波多江 宏氏が夏を家の新たな植栽とランドスケープデザイン案を発表しました。夜は学生達の作る料理を囲んでの懇親会と続きました。

### 7月23-24日「6大学公共ゼミ／研究発表会」

関東学院大学、工学院大学、首都大学東京、湘南工科大学、前橋工科大学、早稲田大学の6つの大学から42名の学生が参加し、1泊2日のゼミ合同合宿を開催しました。4グループに分かれて、「白樺湖を救え！リゾートとして低迷している白樺湖の再開発」をテーマに徹夜で発表内容をまとめ、二日目午前に講評会を実施しました。この提案内容を行政にも提案していきたいと考えています。

### 9月17日「武藤 章先生33回忌」

武藤研究室ゆかりの関係者が50名以上集まり、武藤 章先

生が設計した空間の中で故人を偲び、思い出話に花を咲かせました。かつての学生にとっては懐かしの学生寮であり、リノベーション後の白樺湖夏の家を知る学生にとっては、今なお新しい北欧モダンの空間です。武藤先生のご夫人敦子さんと、ご息女で工学院大学非常勤講師の武藤 かのりさんが自宅から持参した遺影の写真が、リビングの壁面の円形の凹部にぴったりとはまり、参加者を見守りました。武藤先生設計の蓼科山荘も合わせて見学し、秋空のもと温故知新を実感する日となりました。



9月17日「武藤 章先生33回忌」

### 9月30日「第2回北欧建築デザインの夕べ」

フィンランドの建築を特集する第2回の講演会には、多摩美術大学名誉教授にして北欧建築デザイン協会理事である平山達先生をお招きして「アールト設計の図書館から読み取れる事」を講演して頂きました。講演後は近隣の北欧料理店ガムラスタンから取り寄せた豪華な北欧料理とお酒を味わいました。暖炉ではパチパチと音を立てながら火がとまり、参加者の話は尽きず、夜が更けるまでアールトに思いをはせるひとときとなりました。

今後、白樺湖夏の家を在籍学生と卒業生のための憩いの場所として有効に活用していきたいと思ひます。



9月30日「第2回北欧建築デザインの夕べ」

9月30日「第2回北欧建築デザインの夕べ」 懇親会

# 高校同窓会活動紹介

～在校生たちの笑顔が見たい！～

## 会長挨拶

附属高等学校同窓会  
会長 若林 勝司



同窓会員の皆様には、日ごろからご支援・ご協力をいただきまして心から感謝申し上げます。

高校同窓会の主な活動は、親会であります校友会組織の一員としての活動があります。高校同窓会をはじめとして、機械系、化学系、電気系、建築系、専門学校同窓会の6同窓会で組織されています。高校同窓会の役員は、他同窓会と協力をして学園全体の活性化と学園連携に力を注いでいます。高校同窓会は、「新春の集い」の共催、ホームカミングパーティー八王子、文化祭「夢工祭」での「おもいでカフェ」出店、クラブ活動助成金、高校同窓会報「夢広場」の発行。優秀クラブ賞の表彰、卒業生記念品贈呈などを主な活動としています。附属高校同窓会の会員の皆さん、ご父母・教職員の皆様におかれましては、各々と連携を保ち学生・生徒のために、なお一層のお力添えをお願い申し上げて、会長の挨拶とさせていただきます。

附属高校同窓会の活動目的は、高校卒業後もOB・OGが互いに交流すること。また、母校に貢献することです。

活動目的の「母校に貢献すること」については毎年、事業費の中に生徒奨励賞・学園援助費・活動助成費を計上しています。これらは学校運営の一助として在校生の励みになり、生徒・教職員の皆様にお役立ていただいています。

高等学校・中学校の部活動、生徒会活動、海外留学等を手助けする活動助成費について、昨年度は以下のようにお役立ていただきました。

1. 野球部の西東京大会出場において、チアリーダーのレンタルユニフォーム代及び配送料。西東京大会を応援する生徒たちの球場入場料。
2. 部活動や授業で使用する卓球台。昨年度は卓球台を3台購入。



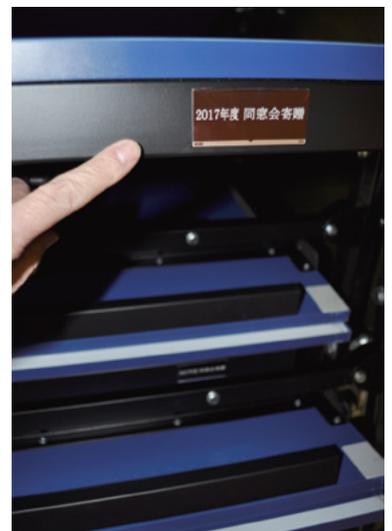
3. 自動車部が各種競技大会へ参加し、イベント等に展示する競技車両の修繕・部品代。
4. 学校行事に使用するデジタルミキサーの購入。主に文化祭「夢工祭」のステージ等で使う音響機材で、老朽化した既存のシステムを更新。



特にデジタルミキサーはタブレット(iPad)をリモコン代わりにワイヤレスで音響設備の入出力をコントロールできる優れもので、担当教員によれば「ステージと客席最後部のミキシング装置を何本もの配線で接続する作業が不要になった。以前ならば1,000万円近い機材と同等の機能が、10万円を切る安価でコンパクトな製品になっている」とのことで、高校同窓会の助成に感謝の言葉をいただきました。

なお、表記可能な物品については附属高校同窓会からの寄付を示すプレートが貼付しています。

その他、高校同窓会が貢献してきた事案について10年間の会報を振り返り、ご紹介いたします。「在校生たちの笑顔が見たい」、この気持ちを込めて今後も高等学校・中学校への援助や寄付を続けてまいります。



### ■同窓会クラブ賞の贈呈

高校の部活動を奨励するため、卒業式で各クラブの代表者に図書カードを毎年贈呈しています。

### ■卒業記念品の贈呈

新OB・OGとなる卒業生へ毎年贈呈しています。記念品には将来役立ち末永く愛用いただけるものを検討。2008年は江戸時代から続く究極のエコグッズ・風呂敷(男女色違い)を、続いて2015年までは海外渡航を意識した本革製パスポートケース、そして現在は社会人必携の名刺入れ(本会名の刻印入り)を卒業式の日に贈っています。(会報第32号、第38号、第39号、第41号別冊の記事参照)



### ■軟式野球同好会の設立援助

2011年に高校軟式野球同好会が設立される際、高等学校野球連盟に加入して公式戦へ出場するために必要な用具一式を援助しました。(会報第36号の記事参照)



### ■「おもいでCafe」収益寄付

本会の特別事業として2010年から夢工祭で開催している「おもいでCafe」は2011年、2回目にして収益を上げました。これを全額、高校・中学校へ寄付。贈呈式で生徒会役員へ直接手渡しました。(会報第36号の記事参照)



### ■チアリーダーのユニフォーム購入・レンタル

2012年7月、高校に有志のチアリーディングチームが設立された際、本会からはオリジナルユニフォームを提供しました。ダンス部が主体となっている、このチア活動には毎年支援を行っています。(会報第37号の記事参照)



### ■八王子バスケットボール教室の開催援助

母校への間接的な貢献として校友会の協賛をいただき、高校バスケットボール部のOB組織「淀橋クラブ」が中心となり2005年から2014年まで年1回、八王子市内・近隣の中学生を対象に「八王子バスケットボール教室」を開催しました。第10回の開催時には7つの中学校から団体・個人を招待し、母校を含めて総勢197名がプロのバスケットボール選手から指導を受けています。(会報第39号の記事参照)



# 専門学校同窓会活動紹介

## 会長挨拶



専門学校同窓会  
会長 **渡辺 征三**

2017年度は、葦山反射炉見学、埼玉県西支部大会での梶野さん講演会及び川越祭見学更に、北海道全国大会への参加と多くの活動を行ってきました。佐藤 利美さんの鹿島神宮献上の日本刀レプリカを資料室に展示するとともに学園、校友会のイベント等で多く紹介させていただきました。

2018年度は、〈戦艦三笠見学と海軍カレーを食す〉をはじめ多くのイベントを計画するとともに新たに、ホームページを改善し各分野で活躍している同窓生の紹介などを行い、同窓会活動の活性化を進めていきます。さらに学園支援、校友会との交流を図っていきますので多くの同窓会会員の参加をお願いいたします。

## ■同窓会見学会に初めて参加して

寺川 陽子(1970年建築科卒業)

2017年4月下旬に見学会の案内が届き、行先が一度行ってみたいかった葦山反射炉でしたので、同級生の河野さんを誘い参加申し込みをしました。

当日は集合場所の川崎駅前からマイクロバスで現地に向かいました。サロンカー内は同窓会会長のご挨拶や平山 大先生の作成して下さいました見学会資料のご説明もソコソコにこの暑さで喉が渴ききった皆様の、朝からシャンパンやワイン・ビールの進む事、また笑い声に現地に着く2時間がとても短く感じられる程に楽しい時間でした。

現地のボランティアガイドさんによる反射炉見学と昼食後の江川邸の見学はとても興味深いものでした。

改めて平山 大先生の資料を読み返し、今から160数年前に鎖国時代の本当に数少ない資料から学び吸収・工夫し失敗を恐れず実践し、国の為に時代を読取る力や努力は計り知れない程だと思ふと共に、国民性が成せる性質でもあり改めて日本を誇りに感じました。



その江川 英龍の弟子が工学院専門学校の前身の工手学校を創設したメンバーであったとは感動して涙が出るほどです。

最後になりましたが今回の見学会の企画や資料を作成していただいた、平山 大先生や役員の方々に、この場をお借りして御礼申し上げます。

本当に楽しい一日でした。



## ■梶野 和己さん〈私のいきかた〉についての講演報告

2017年10月14日の校友会埼玉県西支部大会において専門学校同窓会大先輩の梶野 和己さんが〈私のいきかた〉について講演されました。同窓会から多くが参加し感銘を受けました。後援会に先立って川越祭及びお菓子横丁散策を楽しみました。





■大勝 靖一賞候補者募集終了のお知らせ

学園では、2008年4月1日、前校長大勝 靖一先生の私財のご寄付により、大勝 靖一賞が創設されました。本賞は、毎年、学園の創立記念式典(10月31日)の際に、工手学校以来の伝統を受け継いだ工学院、工学院専修学校、工学院大学専修学校及び工学院大学専門学校の卒業生で社会において顕著な業績をあげた毎年2名、合計20名に対し表彰状を贈り、そのご功績を顕彰してきました。今回をもちまして大勝 靖一賞候補者の募集は終了いたします。同窓会各位のご協力ありがとうございました。

最後となりました今回は

1964年3月

工学院大学専修学校応用化学科卒業の大野 英誠氏

1976年3月

工学院大学専門学校機械科金属コース卒業の佐藤 利美氏の両氏が受賞されました。推薦趣旨は次の通りです。

大野氏は工学院大学専修学校応用化学科の卒業生として、武州ガス(株)に在職中、甲種ガス主任技術者免許を取得。高圧ガスの保安確保に工夫し、'82・ガス展コンクールに於いて奨励賞を受賞。また、母校工学院大学校友会埼玉西支部及び専門学校同窓会活動にも積極的に参加し、母校の発展に寄与。他方地元自治会長や武州ガスOB会理事としても活躍。

佐藤氏は工学院大学専門学校金属コース最後の卒業生として、卒業後日本古来のタタラ製鉄の技法取得を目指し重義刀匠、兼正刀匠に師事し刀匠の資格を習得。1992年文化庁長

官より「刀匠重利」として承認。美濃伝を伝承中。その後、2002年鹿嶋市民による砂鉄集めの協力を得て、砂鉄から長さ2.5mの『平成の大直刀』を製作。鹿島アントラーズの守り刀として鹿島神宮に奉納した。(この記事は、暁雲79号に投稿。)さらに同窓会活動にも参加し、母校の発展に寄与している。

■佐藤 重利刀匠の〈鹿島神宮献上の日本刀レプリカ〉を資料室に展示

佐藤 利美さんが鹿島神宮に献上した日本刀のレプリカを幹事が5月20日、6月10日に研削、研磨作業を行い、更に佐藤さんの仕上げ作業によって完成させ資料室に展示しました。



## はじめに

校友会では、OB・OG会の近況を校友の皆様にお届けし、“会”の校友相互の親睦、学園や在校生との交流がより発展されるよう、“会”との連携を強化しています。

2018年度の始まりにあたり、校友の皆様への会の活動の様子を紹介し、1人でも多くの皆様楽しく元気で活躍しているOB・OG会に興味を持っていただくと共に“会”に入っていただくきっかけになれば幸いと願っています。

今回は3つのOB・OG会に、学園や学生諸君との交流活動の一端を紹介していただくことにしました。3つの団体の他にも、まだまだ多くの団体が特徴ある活動をしつつ、校友相互の親睦、更に学園や在校生との交流を深めています。紹介はまたの機会に行います。

最後に、校友の皆様が在任中に活動していた部・クラブの“OB・OG”会が今も頑張っている活動しています。最初にお願した通り、1人でも多くの校友の皆様が会に参加されますことを期待しています。

## 関電工OB会(角筈会)

幹事 岡田 武

関電工工学院大学OB会は「角筈会」として、2006年2月に社内卒業生有志約20名が集まり発足し、2018年2月で12年が経過しています。

大学からは毎年、工学部、情報学部、建築学部から合わせて5名前後の新入社員を迎えており、会員数は、2017年度の新入社員6名を加え、ついに103名となりました(退職された先輩OBを含めています)。

当会前会長の長谷川(電気工学科1971年卒)はグリーンクラブ出身でもあり、「新春の集い」をはじめ、現在では学生とも一緒に活動するなど大学・学生とも交流を深めています。また長谷川は校友会代議員としても、大学と企業間の橋渡し役として活動しており、最近では鷹野副学長・理事と共に、就職活動の際に企業へのアピールポイントとなる電気に関する資格に対し学生支援を計画しています。具体的には電気工事士試験準備

のための実技講習への参加などを検討しています。是非とも資格取得し、多くの後輩達が関電工の仲間となることを期待しています。



2017年12月忘年会

## 体育会連合OB会～体育会の学生はボランティアでも活躍しております～

体育会連合OB会

恒例となりました体育会学生と体育会連合OB会による東京マラソンのボランティア活動が曇り空のもと2018年2月25日(日)に行われました。

今回は新宿キャンパス特定天井耐震対策工事のため活動内容はキャンパス内のトイレ提供が主となりました。活動は時間にして約4時間ですが、この日のために学生と昨年末から準備を始め、大会前日にも学生とトイレ誘導表示の確認やゴミ箱撤去等を行い、当日は朝6時30分に新宿キャンパスに学生含め総勢80名が集結しました。それぞれ持ち場に分かれ大学ロゴ入

りのハンドタオルを激励の掛け声とともに配布、施設を利用したランナーから感謝の言葉を聞いたとき、地域貢献と工学院大学のイメージアップに貢献できたと思えました。

ランナーが去ったキャンパス内の清掃と、器具を元に戻し解散。毎年これを繰り返すのですが、学生は毎年幹部交代をします。その中で9回も続いていることは情報の共有・伝達ができているからでしょう。

体育会の学生はクール！



## グリークラブOB会～現役アカペラサークルΣとの交流～

会長 山田 伸一

グリークラブOB会は、2003年に発足以来、16年目を迎えました。OB会規約の第2条(目的)には、合唱を通して会員相互の親睦を深め、本学の発展に寄与するとあり、その中にグリークラブの復活があります。

1961年頃に創部されたグリークラブは、当時大学間でも一目置かれた男声合唱団でありました。当時開催されたアメリカ大使館主催による、エール大学とのジョイントコンサートに関東地区から10大学が選ばれ、その中に唯一、単科大学の本校が選ばれたのです。会場となった日本武道館のロイヤルシートには三笠宮ご夫妻、常陸宮ご夫妻を迎え、演奏したのです。その栄光の復活は、近年本校にも女子学生が増えてきたこともあり、4年前から男声合唱から混声合唱へと方向転換しました。

一昨年、大学のご理解により、新入生オリエンテーション時の部活動誘いにブースを設けていただき、学生に混じって、キャッチフレーズ「OB会と一緒に校歌を歌いませんか!」のチラシ、そして新入生が親しみやすいように作成した、アンケートを用意しての活動、結果は25名前後の新入生が興味を示してくれ、1名の男子学生が新宿キャンパスでの練習に2回ほど参加してくれましたが、八王子と新宿とに分かれているハンディキャップもあり、継続するまでには至りませんでした。

しかしながら、2017年度は歌うことが好きな1・2年生からなるアカペラサークルΣ(以下Σ)の皆さんと交流することができ、OB会の練習に男女学生数名が参加してくれるようになりました。その結果、昨年の八王子祭、新宿祭には合同ステージで校歌、他数曲を歌うことができ、さらに2018年の新春の集いには、大勢の校友会の皆様の前で、校歌と学園歌を共に歌い、会場を盛り上げることはできたのは大きな収穫でありました。

今年も新入生勧誘を行う準備をしています。何名の方が興味

を示してくれるかはわかりませんが、昨年までと違うのは八王子と新宿とに分かれているハンディキャップをΣの皆さんに相談しながら乗り越えることができるのではないかと期待があることです。

2018年7月7日(土)には、きゅりあん小ホール(品川区立総合区民会館)にて「第三回ファミリーコンサート」を開催します。Σの皆さんのステージは25分間予定しています。

OB会は引き続き、復活に向けて地道に前進し、本校の発展に少しでも貢献出来るよう活動を続けて参ります。

(文責：渉外担当 仲野 武彦)



新宿祭の合同ステージ



八王子祭でのアカペラサークルΣのステージ

## サークル活動紹介

### ■空手道部の卒業生が全国大会で優勝!

2017年11月25日(土)に開催された下記の全国大会にて、本学の卒業生が優勝しました。学園や校友会、体育会連合OB会にとっても非常に嬉しいニュースであり、今後も益々のご活躍を期待します。

主催：公益社団法人日本空手協会  
大会名：第17回熟練者全国空手道選手権大会

個人戦 組手の部 男子65～69歳

結果：優勝/郡司 正明氏(1972年生産機械工学科卒/生技・空手道部OB)

文責：空手道部OB会(淀橋会) 相談役 渡辺 静雄



### ■大学2部コーラスグループ「<sup>まりん</sup>樹輪の会」の活躍を紹介!

今では新春の集いなどの校友会行事で「グリークラブOB会」と合同で校歌や学園歌の合唱を披露していただきすっかり馴染みになりました。

実は2013年6月に宮城県石巻市で開催された「出張科学教室」に学園の要請を受け学園連携部を中心に校友会本部の代表と東北各県支部の代表に参加をしていただきました。校友会本部と支部代表の皆様との交流の中で宮城県支部前支部長の杉山 征太郎さんに「樹輪の会」の活動を紹介していただきました。その中でも70回を迎える東京都合唱連盟・朝日新聞主催の「東京合唱祭」には毎年参加しているとお話に同席した校友は驚きと尊敬の念を禁じ得ませんでした。2017年の「第72回東京合唱祭」では40回連続出場のみならず表彰を受けられました。

文責：福田 忠彦

## 全国支部長会報告

# 第5回全国支部長会報告

支部組織部 部長 上野 耕平

### ■開催概要

- 開催日時：2017年5月27日(土) 13:00～17:00
- 場所：新宿キャンパス28階 第1・第2会議室
- 参加者：全国45支部／出席40名(代理人含む)、委任状1名、欠席4名  
理事・監事・支部組織部／出席24名  
出席者合計64名
- 議長：上野 耕平(支部組織部部長)  
副議長：渡辺 征三(支部組織部副部長)  
書記：阿部 信夫(支部組織部部員)、三田 一男(支部組織部部員)
- テーマ：①「支部間の連合・統合」について  
②「支部主催の講演会に対する本部支援」について  
③「次期全国大会開催支部」について

一般社団法人移行後5回目となる「全国支部長会」は、司会者 白井 精滋 氏(支部組織部)の開会の辞で始まりました。

田中 英生 校友会会長からの挨拶の後、司会者より新任支部長(11支部)宮城県支部長 荒川 捷英氏、福島県支部長 齋藤 信一氏、埼玉県中央支部長 徳田 博文氏、埼玉県西支部長 秋田 彰一氏、東京支部長 椋田 實氏、西湘支部長 山田 雅孝氏、福井県支部長 乾 義秀氏、長野県支部長 友野 稔氏、京滋支部長 木村 左右吉氏、奈良県支部長 北隅 秀夫氏、佐賀県支部長 南里 義光氏、及び新規設立の岩手県支部長 工藤 一博氏の紹介の後、代理出席の宮城県、京滋支部を除く10名の支部長よりご挨拶を頂きました。

次に報告事項①支部運営規則の改正(参与職の追加とその役割について)、②平成28年度各部(本部)活動報告(校友会報vol.138号による)、さらに伝達事項として、北海道支部長(全国大会実行委員長)稲田 光男氏より「第18回全国大会 北海

道大会」についての企画紹介、参加申込み状況、寄附、広告のお願いの後、上野支部組織部長より、各支部の報告会日程の紹介と校友会のホームページ活用についての提案がありました。

出席者全員の集合写真撮影が行われ、15分間の休憩の後、3つのテーマに関しての質疑が行われました。

テーマ①「支部間の連合・統合について」では、既に実施している東北6県会、中国ブロック交流会と昨年より実施し始めた関西地区連合の活動を紹介し、九州や四国ブロックでの連合の可能性や神奈川県1県で5支部設立されている神奈川ブロックでの合同行事の開催の可能性などについて積極的な意見が交わされました。

テーマ②「支部主催の講演会に対する本部支援について」では、学園の教授などに講演を依頼する際の謝礼の金額について一定の取決めをしてもらいたいとの要望がありましたが、結論に至りませんでした。

テーマ③「次期全国大会開催支部について」では、前回の全国支部長会の後、候補支部として立候補した大分県支部の渡邊支部長より、立候補に至る経緯の説明があり、満場一致で次期全国大会開催支部として大分県支部が承認されました。

テーマ質疑の後の「自由討議」では、維持協力会費の集め方、若手会員を集めるための後援会との連携強化、他大学の校友会の実態調査の必要性など、各支部の抱える課題について話し合いが行われ、第5回全国支部長会を終えました。



## 支部特集／新支部長紹介

全国で活躍する工学院大学の卒業生たち。工学院大学校友会は、卒業生の全国組織です。現在46支部で構成される校友会の中から、支部長が交代した13支部(宮城・秋田・福島・埼玉中央・埼玉西・東京・西湘・長野・福井・静岡・京滋・奈良・佐賀)の新任支部長に就任の抱負を聞きました。

### 宮城県支部



#### 支部長 荒川 捷英

卒業年：1969年3月 卒業学科：電気工学科

校友会宮城県支部長の委嘱を受けるにあたり、挨拶申し上げます。

宮城県支部に所属してから、歴代支部長の下で30年間ほど支部活動を続けて参りました。7年前には未曾有の東日本大震災に見舞われましたが、現在、支部会員は元気で活動しております。

支部運営での課題は、高齢化です。校友会年間行事(报告会・懇親会・麻雀&ゴルフ大会等)への出席者の固定化と高齢化が大きな問題点と思われます。

会員の方々の意見や提案を積極的に取り入れ、イベント&サークルを多様化して幅広い年齢層の方々に参加しやすい環境づくりをしていきたいと思っております。

校友会本部のご支援をよろしくお願いいたします。

### 秋田県支部



#### 支部長 佐々木 修

卒業年：1977年 卒業学科：電子工学科情報工学コース

富樫支部長の後を受け、支部長に就任することになりますが、支部行事への参加者が少なく支部活性化につながらない現実に、歴代の支部長が苦勞されていたのを見てまいりました。

今後、少しでも参加者を増やすため、秋田県大潟村で開催の『WGC・ソーラーカー・ラリー大会』に参戦する本学チームの陣中見舞いを兼ねての応援や、今年度、秋田県で開催予定の校友会東北6県交流会への参加を支部会員へ積極的に働きかけることで、支部を活性化し学園や校友会の発展に努めたいと思っております。

### 福島県支部



#### 支部長 齋藤 信一

卒業年：1978年 卒業学科：電気工学科

福島県支部は、県北、県南、いわき、相双、会津の5つの方部に分かれています。活動内容は、報告会を年1回開催しています。開催地は、方部の持ち廻りとしています。2017年度は8月に東山グランドホテルにて開催し、12名が参加しました。議事内容は次のとおりです。

・事業報告及び次年度の事業計画／・決算報告及び次年度の予算案／・支部長会議及び校友会本部からの連絡事項の伝達／・その他／・懇親会

翌日には開催地の史跡等見学会を行い、願成寺(がんじょうじ)を見学して、喜多方ラーメンを堪能しました。

これからの課題として、支部役員の高齢化や報告会の参加者が少ないことが挙げられます。支部が広域なため、支部内のコミュニケーションが取れないのが現状です。方部ごとに会社、仕事、地区と若い同窓生への[口コミ]による呼びかけをして、毎年1人以上の人員増加を目標に取り組んでいき、支部及び地域の活性化に繋げて行きたいと思っています。

### 埼玉県中央支部



#### 支部長 徳田 博文

卒業年：1975年 卒業学科：電気工学科

支部長就任1年目は、横須賀港めぐり、千葉御宿旅行会等を行いました。校友の皆様と楽しく歓談できました。支部活動費が少ないので、案内の通信費が重荷でした。業者に往復はがきを依頼していましたが、可能な所にはメールでの案内に切り替え、通信費を抑えることができました。2018年度は、報告会で大学の先生の講義を検討しています。魅力あるイベントを企画し、参加者をもっと増やしていきたいです。会員の皆様の情報交換やコミュニケーションの場を提供できるよう活動していきます。

## 支部特集／新支部長紹介

### 埼玉県西支部



#### 支部長 秋田 彰一

卒業年：1972年 卒業学科：工業化学科

埼玉県西支部におきまして唐鎌 貞郎支部長の後を引き継ぐことになりました秋田です。私が支部活動に参加させていただいてから20年以上経ちます。その頃は年に1度東松山で総会に集まる程度でしたが、今では4月の報告会兼意見交換会、10月に川越祭りに合わせてセミナー懇親会、新年会か忘年会、当時と比べると頻繁に集まるようになりました。この他にも2017年度からは幹事が色々なミニイベントを企画し、メールで参加者を募り実行するようになりました。誰でも気楽に参加できるイベントを色々企画し、支部の永遠の課題である、支部員の若返りの一助になればと思います。

### 東京支部



#### 支部長 椋田 實

卒業年：1970年 卒業学科：電子工学科

東京支部は校友相互の交流と親睦、学園在学生への支援、学園の発展を目指して活動を進めています。校友会支部の活動は本部とは役割が異なり、校友会員に直接働きかける日常的で地道な活動です。

現在、東京支部の定常的な活動は8つのサークル（囲碁、俳句、写真、ゴルフ、ボウリング、詩吟、社会見学、歴史的実験機材）が分担しています。これらの活動は、近隣支部の方々にも参加をいただき、校友相互の交流・親睦の大きな柱となっています。新しい活動として現職の教員や若手の校友会員にも協力をいただき、教育・研究への支援ができればと考えています。みなさまのご協力をお願いいたします。

### 西湘支部



#### 支部長 山田 雅孝

卒業年：1966年 卒業学科：建築学科建築設備コース

初めて支部長をお引き受けしましたが、長い間校友会は支部の活動に時々参加する程度であったため、何も分からず今日に至っています。これも先輩支部長の全面的な支援があったからこそ、感謝しております。ご多分にもれず当支部も高齢化が進み、年齢制限のため支部役員の該当者がおりませんので今後の支部運営が危ぶまれておりますが、支部の活動は毎年4～5回の行事が組まれ活発です。神奈川県内には5支部があり、当支部は県西地域の秦野、伊勢原、小田原を中心として箱根、湯河原、大山・丹沢を含む観光地であります。当地へお越しの節はお声かけください。

### 長野県支部

支部長 友野 稔 卒業年：1969年 卒業学科：建築学科

2018年は冬季オリンピック平昌大会が行われましたが、20年前の冬季オリンピック長野大会が開かれた長野市に住んでいます。申し遅れましたが長野県支部の友野でございます。

長野県は南北に長く大きく分けて北信、中信、東信、南信と4つに分かれ、例えば県内でも北信から南信に行くには東京に行くよりも時間がかかります。長野県支部は北信の長野市と中信の松本市の2か所で支部総会が年1回開催されておりますが、合同で東信の軽井沢の学寮で開催する案も検討されております。

顧みますとここまで建築一筋で頑張ってきたのも学生時代1部空手道部で多くの先輩の指導のもと同期の仲間たちと過ごせたのが大きかったと自負しております。現在、OB会（淀橋会）、体育会連合OB会にはできるだけ出席するようにしております。

### 福井県支部



#### 支部長 乾 義秀

卒業年：1976年 卒業学科：工業化学科

福井県支部は、学校創設者である渡邊 洪基先生の生誕地（現・福井県越前市）に支部を置き、会員11名で活動を行っております。主な活動は洪基先生の分霊塔に5月24日（命日）・秋のお彼岸にお参りと清掃を行うことです。

関東圏から遠方である事から会員数は少数ですが、志を立て工手・専門・大学で学び得た事を社会に役立て、地元の発展に寄与したいとの思いを持った卒業生ばかりであります。御多分に漏れず若い方の参加が少ないですが、志を立て地元に戻って居られる方々に参加いただき、福井県支部を盛り立てて行きたいと考えております。

## 静岡県支部



### 支部長 石神 雅昭

卒業年：1990年 卒業学科：化学工学科

皆様、はじめまして。静岡県支部の石神です。今年より、静岡県支部が設立されました。支部長として卒業生の皆様と静岡県支部を盛り上げていきたいと思っております。皆様にご支援をいただく機会が多いと思いますので、ご指導よろしくお願いたします。

## 京滋支部

### 支部長 木村 左右吉

卒業年：1966年 卒業学科：機械工学科

2017年4月から澤井 年治支部長からバトンを受けた木村でございます。琵琶湖の近くの大自然のなか、古ぼけた庵で暮らしております。卒業して50数年、浄水場の見える校舎で学んだこと、マンドリンクラブで練習に精を出したことが懐かしく思い出されます。

私は、京滋支部が大阪支部から分離、独立した当時（昭和54年頃）から、地域の校友を求め参加させてもらいました。初代の石川 太一支部長、2代目伊藤 肇支部長、3代目の澤井 年治支部長といずれも立派な支部長の後を受け「大丈夫？」と自分に言っているところですが、なんとか支部の皆様方のご協力を得ながら頑張りたいと思っています。

我が支部は、親睦行事を中心に活動していますが、我が支部会員の皆様も高齢化してきており、いかに若い会員さんの参加を促すかが課題でもあります。

## 奈良県支部



### 支部長 北隅 秀夫

卒業年：1986年 卒業学科：建築学科

この度、支部長に御拝命いただき光栄です。支部としては、歴史と文化がある国際観光都市の立地を活かし「一工夫した支部の活動」を通じ、「校友のネットワークの拡大」と「学園全体のイメージUP」に寄与したいと考えています。皆様からのご指導・助言などよろしくお願いたします。（35ページ参照ください）

〈仕事〉浅井謙建築研究所（株）に在籍。環境・設備設計室で執行役員として「建築デザインと環境設備の融合」を目指しています。海外業務として、東南アジア（台湾・ベトナム）等があります。

〈趣味〉車窓に映る「景色から生活や歴史を感じとる」ことが好きです。“理解出来ますか？”

NHKの番組「プラタモリ」で本人曰く「俺は、坂道が好きです。」同様なのですが、私宛の「プラタモリ」情報をお待ちしております。

## 佐賀県支部



### 支部長 南里 義光

卒業年：1967年 卒業学科：電気工学科

校友会会員の皆様今日は、佐賀県支部の新支部長の南里 義光でございます。支部長になり1年が経過しました。

佐賀県支部の活動状況について紹介させていただきます。2018年の佐賀県支部活動計画は、新年会（1月）、花見会（3月末）、総会（8月）を予定しております。

今年の課題として、校友会会員の増員ならびに参加の呼びかけを積極的に実行することを重要課題としております。現在の会員状況を申し上げますと、佐賀支部の行事に常時ご参加いただいている方が10名程度です。校友会会員の佐賀県内在住者は、39名の名簿を把握しておりますので、増員が可能であると考えております。会員への呼びかけ運動を実施し、更なる親睦を深めていきたいと思っております。

今後とも会員の皆様のご指導のほど、よろしくお願いたします。

# 山形県支部

山形県支部 支部長 鈴木 公章

山形県は山形市を中心とした村山地区と、福島に隣接する置賜、北部新庄市の最上及び日本海側の鶴岡・酒田市のある庄内地区に分かれております。支部の活動は、山形市で例年支部報告会兼意見交換会(総会)が6月末に開催、毎年10名ほどの同じ様な顔ぶれが参加しております。

支部総会は、以前は置賜地区での企画や羽黒山のふもと「休暇村羽黒」で庄内地区の会員を交えた宿泊での総会が行われておりましたが、参加者の多くが村山地区に限られていたため、今年度は総会の他に、11月に庄内地区の会員の企画で交流会・懇談会を開催しております。最近、注目が集まる鶴岡市の文化施設、荘銀タクト鶴岡(鶴岡市文化会館)やアートフォーラム、藤沢周平記念館などを、施設建設に関係した会員の案内で視察研修を行いました。懇談会では庄内の食の文化、鶴岡料理を堪能し、交流を深めたところです。今後、各地区におられる会員との交流を通して、会員拡大や参加協力が得られればと考えております。

近年では東北六県の支部交流会を、2011年度の福島支部から各支部持ち回りで開催しております。他県からの参加は役員のみであることが多いのですが、担当支部の支部会員の皆様の協力で毎回盛り上がっております。所属支部だけの集まりと違って、新たな人たちとの交流や意見交換が出来ること。また、本部からの出席者もあり、工学院大学の過去と現在そして未来を知るうえでは、最良の企画の一つと思われれます。

2017年度の春の叙勲に於いて、前山形県支部長の平吹 和之さん(1965年建築学科卒)が現職の一般社団法人山形県建築士会会長として、永年の建築設計監理業振興功労の功績にて旭日小授章を受章されました。また、2017年度の校友会社員総会の表彰式では感謝状を頂いております。我々支部会員にとりまして大変な誇りでもあります。

2018年度には、山形県支部は50周年を迎えます。私が大学で過ごした時期に支部設立となったことから支部の歴史と重みが伝わります。現在は支部会員の末長い参加と交流、そして特に若い会員の拡大が大きな課題であります。これまで築いてこられた先輩に感謝するとともに、東北の近隣支部の皆様からの協力を得ながら、支部運営に努めたいと考えております。

数ある校友会支部の中で、東北の六県では一つのグループを結成しています。山形県支部は其中でも支部活動が活発な支部の一つではあります。

活発な議論が続いた会議の後、経験を積んだその大先輩に支部活動の心得をうかがうことができ、大変参考になりました。

そして、山形県には名物が沢山ありますが、もぎたてのさくらんぼ(佐藤錦)をごちそうになりました。瑞々しい上に砂糖なごとの甘さ、銘柄もズバリ呼び名の通りでした。

東北六県会合は、心情-人の繋がりを大切にする東北地方の絆でしょうか、会合における校友の参加はなかなか盛大であり多彩です。2019年度の東北六県会合の開催地は山形県の予定です。  
支部組織部 甘粕 一彦



# 茨城県支部

茨城県支部 支部長 南 弘

## ■茨城県の概要(茨城県ホームページ他より)

茨城県は人口が2,896千人で全国11位、面積は6,097Km<sup>2</sup>で全国24位です。地域が大きく5つに区分されています。「県北地域」は日立市、ひたちなか市を中心に海岸部は工業化されていますが、八溝(やみぞ)山地は緑豊かな山間部となっています。「県中央地域」は県庁所在地の水戸市を初め文化と歴史の香り高い地域です。「鹿行(ろっこう)地域」は鹿島灘に面した臨海工業地帯が近年形成されました。「県西地域」は農業を中心に野菜・果物の供給地として注目を集めています。「県南地域」は筑波研究学園都市をはじめ東京地区のベッドタウンの様相を見せています。

## ■茨城県支部の活動

現在幹事と会計監査合わせて12名の役員で定期的に土浦市において幹事会を開き、種々の活動の企画・計画を行っています。

### ◎春のイベント

2015年に支部活動再開後の最初の行事として水戸偕楽園の観梅会を行いました。2017年に第2回目の観梅会を行い、今後春の定例行事として継続していこうと考えています。

### ◎秋のイベント

県央地域の笠間市は伝統的な焼物笠間焼があります。2016年11月に近隣支部の校友にも参加を呼びかけて、美術館他の見学後笠間焼の体験に挑戦しました。全員作品が焼きあがる

の楽しみに散会しました。2017年11月には笠間市内のそば打ち体験施設で、そば好きが集まり、手打ちしたそばを肴にして近況報告に話の輪が広がりました。

### ◎報告会兼意見交換会

毎年7月初めに水戸駅近くのホテルに会場を設け、校友会本部の参加を得て1年間の活動報告と当年度の計画を発表しています。

### ◎支部会報の発行

2017年の支部活動報告会兼意見交換会において、支部の会報を発行することになり、早速会報委員会が立ち上げられ原稿・掲載写真の編集がスタート、10月1日に創刊号を発行しました。今後も定期的な発行を計画します。



2016年2月28日つくばサイエンスツアー



2015年2月21日第1回水戸偕楽園観梅会



2016年11月26日笠間やきものツアー



2017年11月18日笠間そば打ち体験



2016年7月9日支部報告会兼意見交換会

# 富山県支部

富山県支部 支部長 藤井 裕久

## ■「第30回記念 東京理工六大学ゴルフ大会」に向けて

今日は、冠雪をいただいた立山連峰の雄々しき姿を望みながら出社しました。多くの富山県民にとっては「ふるさとの原風景」です。こんな日はそれだけでうれしいのですが、富山では冬季にゴルフ場がクローズとなるため、球春が待ち遠しい時期でもあります。早くゴルフシーズンが来ないかと心待ちにしながら執筆のためパソコンに向かいます。

さて、有志による実行委員会により第1回東京理工六大学ゴルフ大会が開催されてから、2018年はいよいよ30回記念大会を迎えます。参加校と本年までの優勝回数を優勝回数が多い順に紹介すると、東京電機大学(12回)、工学院大学(8回)、芝浦工業大学(5回)、武蔵工業大学(現東京都市大学)(3回)、東京理科大学(1回)、東京工業大学(0回)です。個人優勝記録は、工学院大学の石丸 哲夫先輩と石谷 吉孝先輩が3回、同じく熊谷 郁郎先輩が2回と、団体・個人とも堂々たる戦績を残しています。

ものづくり県である本県において、理工系六大学の出身者が、ゴルフを通して交流を続けてきたこと、その中でも工学院大学が存在感とリーダーシップを示してきたことは素晴らしい事

であり、先輩諸兄のご努力に感謝と敬意を申し上げます。

しかし、第25回大会の団体優勝と熊谷先輩の個人優勝を最後に不振が続いており、この4年間は苦杯をなめてきました。長い間、大会会長を務めていただいた山本 修先輩のあとを引継ぎ、第30回記念大会も小生がその大役を担うことになっています。交流と懇親が第1目的ではありますが、本年こそ「工学院大学ここにあり!」という成績を残したいものです。

## ■富山県支部総会

2017年6月13日(火)に富山市内の高志会館にて、43名の同窓生が参加して校友会富山県支部総会が開催されました。2016年度の事業・決算報告の後に2017年度の事業計画・予算を承認しました。

また、総会後の懇親会では、藤井支部長の挨拶の後、山本前会長、田中 幹夫 南砺市長が祝辞を述べ、近藤富山県建設業協会会長の発声にて乾杯し、会員相互の交流を通じて友情を深めました。さらに、第29回東京理工系六大学OBゴルフ大会の戦績が発表され、選手団の奮闘を称えとともに次回大会の健闘を誓い合いました。



第28回大会呉羽カントリークラブにて健闘を誓い合う



第29回大会表彰式の模様



伝統の団体戦・個人戦優勝カップ



富山県支部総会での近藤富山県建設業協会長のご挨拶

# 奈良県支部

～奈良県にある支部としての一工夫～

奈良県支部 支部長 北隅 秀夫

## ■奈良県支部について

当支部は磯 三男 元支部長の声掛けで2014年3月に発足し、今年で4年目です。磯氏には、以下の2点を支部の目的に掲げ、『奈良県支部を通じて「校友」を知り「奈良」を知ろう』をキャッチフレーズに支部の発展に力をそそいでいただきました。

◎会員相互の親睦のため、会員間の繋がりを深める。

◎学園の発展に寄与することを目標とする。

一方、沢田 洋二 前支部長には関西支部連合、澤崎 宏 校友会副会長兼広報部長とコンタクトを取っていただき、本部との連携を取ることができました。その甲斐もあり、校友である帝塚山大学居住空間デザイン学科の新海 俊一 准教授をご紹介いただき、昨年より副支部長として協力いただいています。

また、2017年よりFacebookページを開設し、支部の活動報告、支部校友間の連絡・連携、奈良県周辺に在住・在勤の新たな校友の掘り起こしに役立てています。



校友会奈良県支部のFacebookページはこちら

## ■第4回奈良県支部総会について

2017年度の支部総会は、副支部長の提案で五條市と吉野郡大淀町にまたがる奈良県屈指の梨の産地、大阿太高原(奈良県中央部)の「RIKAEN」で9月23日(土)に開催しました。この農園は、「梨の花文化」を全国に広げるために苗木の栽培方法を研究し、梨花を町の花に指定している大淀町に梨の街路樹を実現することを目指す「梨の花プロジェクト」が活動拠点とする観光農園です。ところで皆さん、梨は「バラ科」だっただけで済んだか？

総会当日は、秋分の日で天候に恵まれ、手造りの木造クラブハウスにて、奈良・大阪・兵庫・和歌山・京滋の各支部所属の校友とそのご家族に加え、帝塚山大学の2年生にも運営に協力いただき、参加者18名で実施しました。

総会では、①支部会員の高齢化と会員数拡大の方策、②関西の支部が連携することのメリット、③工学院大学の若き卒業生、在学生との交流、ネットワークを充実し、学園を育てること、など、各支部共通の課題について議論しました。

第1部では、RIKAENという会場の立地も考慮し、磯氏が研究している「街路樹について」講演をしていただき、並木道の街路樹は手入れ次第でもっと豊かな都市環境を創り出せることを

教えていただきました。第2部の懇親会では、奈良名物の柿の葉寿司や、会場のRIKAEN内で収穫された瑞々しい梨を堪能しました。第3部の目玉は、「梨(二十世紀)狩り」です。農園のスタッフの方から梨のもぎ方、おいしい梨の見分け方の指導を受け、参加者は熱心に梨狩りを楽しんでいました。

## ■今後の支部活動について

まだまだコンテンツは不十分ですが、支部のFacebookページ等を活用して、歴史と文化そして観光の都市である奈良の良さを生かしながら「一工夫した支部の活動」を全国の校友や一般の方々にご覧いただき、工学院大学校友会奈良県支部の認知度を高めるとともに、校友個々の人的交流を通じて校友会のネットワークを拡げ、学園全体の発展に寄与していきたいと考えています。

最後に、支部活動にご協力いただきました校友の皆様ならびに支部総会に参加・協力いただきましたご家族、帝塚山大学の学生の皆様に厚くお礼を申し上げます。



## 総務部

総務部 部長 植木 幸裕

副部長／久禮 和彦 部員／小野寺 康、佐藤 英雄、若林 勝司、小口 俊明、平山 徹夫

総務部は原則的に月1回の定例会の他、社員総会前や集中審議が必要な場合の臨時部会を開催して活動しています。

主な活動は、各種規則の制定や定款、規則類の改正に関すること、社員総会開催に関すること、校友会の事業計画に関すること、他部に属さない事項等多岐に亘っています。

2017年度は、理事会運営規則等3本の規則を制定した他、個人情報保護法の改正に伴う個人情報保護規則の改正と代議員の任期延長を含めた定款の改正準備作業を行ってきました。

特に多くの時間を費やしたのは、我が校友会が大きく飛翔し、日本一の校友会とするためにいかに活性化させるかの改革案の検討に注力したことです。2018年3月17日(土)に初めて開催し

た代議員集会は校友会活性化に向けたほんの小さな一歩です。代議員集会では複数のテーマ毎にグループに分かれた代議員が意見を交わしましたが、その結果を今後の校友会活動に反映させていきたいと考えています。

この他にも部内で検討した活性化に向けた様々な企画案を、他部と共に着実に実現させていきたいと部員7名頑張っています。



## 財務部

財務部 部長 相澤 良夫

副部長／鄭 雄飛 部員／湯尾 慶一、和田 欣也、川島 久宜、新井 英伸、香川 浩、飯塚 辰典、櫻井 良尚

財務部は校友会の財産を守ることを使命に、収支バランスが取れ、かつ学園に継続的に高額な寄附が可能となり、校友会の財産が健全になったと言える財政体質を目指して活動を行っております。

### 1. 校友会会計チェックの実施

四半期ごとの決算書において、校友会の財産が適正に経理処理されていることを確認し、かつ各部の事業予算の執行状況の確認を実施しております。

### 2. 維持協定会費納入方法追加の検討

現在、維持協定会費の納入方法は郵便局での振込用紙による振込と、直接事務局への現金支払いですが、新たな納入方法としてインターネットバンキングの利用を検討しています。

インターネットバンキングとは、「ネットバンキング」や「オンラインバンキング」と呼ばれる、インターネットを介した銀行取引(ゆうちょ銀行も含む)サービスのことで、銀行の窓口やATMでの

取引は、その場所に規定の時間帯に出向かなければいけません。それらと比較して自宅で利用できることや、土日休日や夜間早朝でも利用できることなどのメリットがあるサービスです。検討した中で、通信欄のある郵貯銀行のネットバンキングを推奨したいと考えておりますが、将来を見据えた校友会の維持協力会費納入に関するネットバンキングに関して情報収集に努め、さらにより良い方法を検討し見極めてご紹介していきたいと思っております。

### 3. 今後のお願い

少子化の影響により以前に比べ会費収入が大幅に減少し、校友会財政の収支状況の悪化が予測されます。終身会員の校友会員の皆様には維持協定会費納入のご協力をお願い申し上げます。



## 広報部

広報部 副部長 佐藤 弘規

部長／澤崎 宏 部員／坂口 教子、浅利 信博、名取 勝敏、安宅 恵理、新海 俊一、田中 元樹、井上 博明

広報部は、校友会報の発行及び校友会ホームページ(Webサイト)の更新・管理を主な活動として行っています。広報部の活動を通じて、校友会員の皆様に校友会の情報を幅広く発信し、校友会活動の魅力をお伝えしたいと考えています。

### 1. 校友会報の発行

年1回の発行物である「校友会報」を“手に取って読んでいただきたい”という想いで、部員一同、編集作業に取り組みました。

校友会全体の一体感及び校友会活動の魅力を生み出せるように、掲載コンテンツの見直し・整理及びカテゴリー分けを工夫しました。その具体例として、研究室単位で活動する同窓会の特集ページ新設や、支部活動紹介ページの強化など、校友会の幅広いつながりを意識しました。

今後も校友の皆様のニーズに応えられるような会報づくりに取り組んでいきます。

### 2. 校友会ホームページ(Webサイト)の更新・管理

校友会ホームページ(Webサイト)のメンテナンスを定期的に行っています。

今年度は、「校友会員の増加」と「若年層へのリーチ」に観点を置き、校友会Webサイトの改善を図るため、WEB診断を実施いたしました。

今後も、より多くの会員の皆様へ校友会Webサイトを閲覧してもらえるよう、改善に取り組みながら、校友会からの案内をはじめ、校友会イベントや支部、同窓会、OB・OGからの様々な情報を、紹介していきます。



## 同窓会組織部

同窓会組織部 部長 小澤 和重  
副部長/鈴木 敏彦 部員/成田 治、久慈 英樹、古川 和弥、唐崎 幸弘、萱沼 宏記、内野 正之、川崎 晃

同窓会組織部は、校友会主催のイベント、各同窓会の行事・情報紹介などの活動を行っています。2017年度は次の活動を行いました。

### 1. 新春の集い2018

今年の「新春の集い2018」は、2018年1月7日(日)に若年からシニアまで多くの校友が新宿キャンパス1階アトリウムに集い盛大に行われました。(詳細は7ページ)

### 2. 学術講演会

学術講演会は、2018年3月10日(土)に博新会と共同開催で講師に本学の卒業生である工学部機械システム工学科准教授濱根洋人先生を迎え、講演題目は「工学院大学ソーラーカー世界大会への取り組み」について技術面や苦労談など大変興味深いお話しをしていただきました。

### 3. 新企画の校友会員交流会「サタデートーク」

参加者人数は、目標50名に対し49名で、達成率98%となりほぼ目標を達成できました。水野前学長の講演会は、「リーダーシップで社会を勝ち抜く」という興味深いテーマで、参加者は熱心に聴き入っていました。懇親会では、講演テーマを話題に大いに盛り上がりました。

### 4. 各同窓会の行事・情報紹介

各同窓会の行事・情報紹介は、各同窓会の行事や校友有志が中心となり開催する「三遊亭 美るくホームカミング落語会」、校友・学園関係者なら誰でも参加できる「蕎麦打ち会」などの紹介を行いました。



## 支部組織部

支部組織部 部長 上野 耕平  
副部長/渡辺 征三 部員/横田 仁、三田 一男、白井 精滋、甘粕 一彦、阿部 信夫、岡安 彰

支部組織部は、各支部の活性化を目的に活動を行っています。

### 1. 新規支部設立への協力

2017年度は静岡支部が設立され、46支部となりました。引き続き支部設立の支援活動を進めていきます。

### 2. 支部活性化への活動

支部組織部員が各地区支部の報告会兼意見交換会に参加させていただき、学園の近況や校友会の活動状況、他支部のイベントのやり方などを紹介し、本部と支部との情報交換を行なっております。また、資金面では各地域支部の前年度の活動報告書と維持協力会費の入金状況を基に、支部活動支援金の交付を行なっております。

### 3. 全国大会開催支部への支援

2017年9月9日(土)に北海道大会が札幌で開催され、210

名が参加し、大盛況の大会となりました。次回大会は2020年「大分県」です。北海道大会に優る大会になるよう、大分県支部と協力し、本年度より準備を進めていきます。

### 4. 学園・他校友会との協力

7年ぶりに出場を果たした「鳥人間コンテスト」の応援に関西連合の各支部長と地域応援団と共に、応援に駆けつけました。応援も頑張るので連続出場に期待しています。

「わくわくサイエンス祭 科学教室」では、「君はスーパー竹とんぼに勝てるか!」(愛知県支部)、「飾り炭を作ろう」(西東京支部)のお手伝いをさせていただきました。



## 学園連携部

学園連携部 副部長 小川 隆  
部員/木下 幸秀、志村 豊、矢ヶ崎 隆義、望月 千尋、長谷川 努、宮木 義雄、勝谷 尚武、小俣 光一、佐藤 勝、篠崎 秀夫

校友会と大学・大学院、附属中学校・高等学校との交流・支援がスムーズに行われるよう、連携を高めるべく活動しています。

### 1. 学生・生徒への奨励金の交付

大学・大学院や附属中学校・高等学校の学生・生徒で目覚ましい活動をした個人・団体に助成金を交付しました。

### 2. 新宿祭・八王子祭・夢工祭への資金援助

### 3. 科学教室への参画

八王子キャンパスで開催された「わくわくサイエンス祭 科学教室」に参画し、校友会ふれあいコーナーの企画・運営及び支部や同窓会、校友有志参加により演示4テーマを展開しました。近隣・近郊の小中学生並びにその父母から人気を博しました。

### 4. ホームカミングデーへの運営協力・支援

学園主催のホームカミングデーに、学園の総務課と協力して

準備・開催・運営を担当し、独自企画としては支部組織部及び各地方支部の協力を得て「地酒バー」を開設しました。

### 5. 地方就職支援事業

希望する地方支部(大学後援会主催の父母懇談会)に学園連携部員を派遣し、卒業生の就職支援活動(Uターン)に対する情報提供を行いました。

### 6. その他

学園教育シーズ集の作成、OB・OG会設立支援、学生・生徒活動援助等々、学園との絆を深めるために様々な活動を実施しました。



## 第4回代議員選挙のお知らせ



### 2018年は代議員選挙の年です。

代議員は正会員を代表して社員総会に出席し、理事の選任、決算の承認等の法人運営における重要事項の最終決定を行います。

校友会がさらに活性化し、母校の存在価値を高めていくことを期待して、前回と同じ選挙制度で実施します。一人でも多くの皆さまの投票参加をお願いします。

#### ■選挙の制度

1. 同窓会の垣根はありません！

前回と同様自分の所属する同窓会以外の立候補者へも投票できます。

2. 2名以上の推薦人がいれば誰でも立候補！

校友会の正会員で、2名以上の推薦人を立てれば誰でも立候補できます。ただし、就任時(2019年2月1日)の年齢が75歳未満であることが必要です。

3. 議員定数は75名～120名に！（次の3ケースが考えられます）

ケース1：得票数上位120位までの人の得票数が10票以上であれば120人までが当選。

ケース2：得票数10票以上の人が75人以上120人未満の場合は、10票以上獲得した人全員が当選。

ケース3：得票数10票以上の人が75人未満の場合は、得票数上位75位までの人が当選。

ただし、得票数10票未満の人は繰り上げ当選者とし、理事に立候補することはできません。

#### ■スケジュール

2018年6月1日(金)～6月30日(土)：立候補受付期間

7月20日(金)：選挙公報公開開始(校友会ホームページに掲載)

7月21日(土)：投票受付開始

8月31日(金)：投票受付締切

9月11日(火)：選挙結果発表

**代議員の任期は2019年2月1日～2023年1月31日(4年間)**

(注：現在は代議員の任期は2年ですが、5月27日開催第6回定時社員総会にて4年に変更の予定)

#### ■立候補の方法

代議員立候補には2名以上の推薦者が必要です。(推薦者に年齢制限はありません。ご自分とは違う同窓会の方の推薦も可能です。)

代議員立候補届と代議員推薦書は校友会ホームページよりWord版をダウンロードし、必要事項を入力後、校友会事務局選挙用アドレス [jimu3@kogakuin.or.jp](mailto:jimu3@kogakuin.or.jp)宛メールの添付でお送りいただくか、あるいはプリント後、必要事項を記入し、郵送で校友会事務局までお送りください。

郵送先 〒163-8677 新宿区西新宿1-24-2 工学院大学校友会 選挙管理委員会 宛

なお、今回の選挙では選挙公報は校友会ホームページへの掲載のみになります。

「代議員立候補届」「代議員推薦書」は提出されたものをWordデータ、手書き記入にかかわらず、PDF化し、そのまま掲載します。誤入力、誤字にご注意ください。

## ■投票について

工学院大学校友会の正会員は等しく代議員を選出する権利を有しています。  
(工学院大学・専門学校・附属高校の卒業生全員が正会員です。)

投票に必要な条件は下記のとおりです。

1. 候補者氏名  
選挙公報(校友会ホームページ)の中から1名だけに投票してください。  
選挙公報閲覧のためのIDとパスワードはこちらです。  
自分の所属同窓会以外の候補者へも投票できます。
2. 投票人会員番号\*  
今回発送の宛名氏名の下10桁の数字か赤枠の出力データ会員番号をご確認ください。
3. 投票人氏名

\*同じ同窓会の中で複数の会員番号をお持ちの方は今回発送の会員番号が代表番号となりますので、この番号をご記入ください。

◎複数の同窓会に所属の場合は、どの同窓会の会員番号を使用するかは、ご自分でお選びください。  
なお、複数の同窓会に所属の方も投票は1票のみですので、ご注意ください。

## ■投票方法

下記3種類の投票方法からお選びください。

1. Eメールでの投票  
投票必須事項(候補者名・投票者会員番号・投票者氏名)を記載の上  
校友会選挙用アドレス：jimu3@kogakuin.or.jpまで送信してください。
2. ファックス送信での投票  
下記の投票用紙に必要事項を記入の上、ご送信ください。  
校友会ファックス番号：03-3342-2035
3. 郵送で投票  
下記投票用紙を切り取り、同封の専用封筒に入れ投函してください。  
選挙期間中の投函の場合は切手を貼る必要はありません。

### 《投票に関するお問い合わせ先》

校友会電話番号：03-3342-2064

校友会E-mailアドレス：jimu3@kogakuin.or.jp

なお、8月10日～8月19日は学園一斉休暇のため、事務局も休みとなりますので、ご注意ください。

## 第4回代議員選挙投票用紙

候補者氏名	この枠の中に候補者1名の氏名をお書きください。		
投票者 会員番号 (10桁)		投票者 氏名	

## 2018年度 主な行事予定

開催予定日	行事予定	開催場所	問い合わせ先
5月26日(土)	2018年度全国支部長会	新宿キャンパス	校友会事務局 電話 03-3342-2064 03-3340-1649 fax 03-3342-2035 e-mail jimukyoku@kogakuin.or.jp
5月27日(日)	第6回社員総会 (同時開催：各同窓会報告会・懇親会等)	新宿キャンパス	
7月21日(土)	第4回代議員選挙投票開始		
1月13日(日)	新春の集い2019	新宿キャンパス	
3月中旬予定	学術講演会	新宿キャンパス	

## 2017年度 表彰学生・生徒

学校	学部	学科	学年	氏名
工学院大学	大学院	機械工学専攻	2年	中山 勇樹
工学院大学	大学院	化学応用学専攻	1年	長屋 裕貴
工学院大学	大学院	電気・電子工学専攻	1年	松永 拓己
工学院大学	大学院	情報学専攻	2年	村上 哲郎
工学院大学	大学院	建築学専攻	2年	深田 隼人
工学院大学	大学院	システムデザイン専攻	研	小島 孝治
工学院大学	先進工学部	生命化学科	2年	久木田一樹
工学院大学	先進工学部	応用化学科	2年	吉田 千栄
工学院大学	先進工学部	環境化学科	2年	久保田敦子
工学院大学	先進工学部	応用物理学科	2年	市川 龍磨
工学院大学	先進工学部	機械理工学科	2年	佐藤 優樹
工学院大学	工学部	機械工学科	2年	奥村 光
工学院大学	工学部	機械システム工学科	2年	下川 遼
工学院大学	工学部	機械システム工学科	2年	新福 将之
工学院大学	工学部	電気システム工学科	4年	角濱 文隆
工学院大学	建築学部		2年	中村 健人
工学院大学	建築学部		2年	平松 晴香
工学院大学	建築学部		2年	小金澤将達
工学院大学	建築学部		2年	武井 太樹
工学院大学	情報学部	情報通信工学科	4年	坪井 祐人
工学院大学	情報学部	コンピュータ科学科	2年	佐藤 颯太

学校	学部	学科	学年	氏名
工学院大学	情報学部	情報デザイン学科	4年	染谷 有紀
工学院大学	情報学部	システム数理学科	2年	古内 大空
附属高等学校		普通科	2年	久保あずさ
附属高等学校		普通科	3年	浅野 絢
附属高等学校		普通科	3年	兒嶋友紀菜
附属中学校			2年	中川 麻菜
附属中学校			3年	新保 陽菜



## 学術講演会

2017年度の校友会学術講演会は、平成30年3月10日(土)、工学院大学博新会と共催で、講師に工学院大学機械システム工学科准教授 濱根 洋人氏(2004年大学院博士課程電気・電子工学専攻卒)を迎え、新宿キャンパスにて開催されました。「工学院大学ソーラーカー世界大会への取り組み」という演題で、技術的な要素を中心とした自身の濃い講演会となり、佐藤 光史学長など学園関係者及び中島 淳博新会会長をはじめとする約50名の校友が熱心に聴講しました。



## 受章報告

### ■高巢 光男 氏／旭日双光章(建築設計監理 業振興功労)を受章

平成29年秋の褒章で高巢 光男氏(1962年大学建築学科卒／福岡県支部長)が旭日双光章の栄誉を受けられました。おめでとうございます。平成24年の黄綬褒章受章に続き2度目となります。



### ■平吹 和之 氏／旭日小綬章(建築設計監理 業振興功労)を受章

平成29年春の褒章で平吹 和之氏(1965年大学建築学科卒／前山形県支部長)が旭日小綬章の栄誉を受けられました。おめでとうございます。



### ■合田 房雄 氏／旭日双光章を受章

平成29年春の褒章で合田 房雄氏(1962年大学工業化学科卒)が旭日双光章の栄誉を受けられました。おめでとうございます。



### ■菊川 亘 氏／藍綬褒章を受章

平成29年春の褒章で菊川 亘氏(1974年大学電気工学科卒)が藍綬褒章の栄誉を受けられました。おめでとうございます。



### ■小島 一郎 氏／旭日双光章を受章

平成29年春の褒章で小島 一郎氏(1967年大学生産機械工学科卒)が旭日双光章の栄誉を受けられました。おめでとうございます。



### ■増山 英樹 氏／黄綬褒章を受章

平成29年春の褒章で増山 英樹氏(1973年大学建築学科卒／鹿児島県支部長)が黄綬褒章の栄誉を受けられました。おめでとうございます。



### ■本澤 宗夫 氏／旭日小綬章を受章

平成28年秋の褒章で本澤 宗夫氏(1969年大学建築学科卒)が旭日小綬章の栄誉を受けられました。おめでとうございます。



## 訃報

次の方がご逝去になりました。生前のご活躍を偲び、謹んでご冥福をお祈りいたします。

- 阿部 克也 氏 平成30年2月25日ご逝去  
氏は化学系教員を務めながら、校友会の理事も務められました。 1991年大学院工業化学専攻博士課程卒
- 澤崎 宏 氏 平成30年1月29日ご逝去  
氏は現職の校友会副会長・理事で、監事及び建築系同窓会長を務められました。 1982年大学建築学科卒
- 山田 文昭 氏 平成30年1月24日ご逝去  
氏は元専門学校教員で、校友会理事を務められました。 1952年大学工業化学科卒
- 木下 忠雄 氏 平成29年12月5日ご逝去  
氏は校友会理事を務められました。 1958年大学工業化学科卒
- 吉岡 利幸 氏 平成29年10月9日ご逝去  
氏は校友会理事及び監事を務められました。 1964年大学工業化学科卒
- 平野 勝久 氏 平成29年6月5日ご逝去  
氏は校友会理事を務められました。 1967年大学電気工学科卒

## 施設のご利用について

校友会談話室及びファカルティクラブのご利用を希望される方は、校友会事務局までご連絡をお願いします。

なお、校友会ホームページ(申請・届出フォーム)からもお申し込み可能です。お申し込み後、事務局から利用可否を返信いたします。

### ■校友会談話室

新宿キャンパスの高層棟28階にある校友会談話室は、校友会会員の親睦や同期会、サークル等でご利用いただけます(16名程度まで)。日曜日・祝祭日・学園休日を除く9時から17時までご利用可能です。セルフサービスのコーヒーを用意しておりますので、会員の皆様が東京・新宿においてになった際は、どうぞお立ち寄りください。

### ■ファカルティクラブ

新宿キャンパス中層棟8階にあるサロン調のファカルティクラブは、会員の方がご使用の際に、校友会事務局経由で利用申し込みをされた場合には、利用料が無料となります(卒業生同士の使用目的・50名程度まで)。同窓会、支部・クラス会、懇親会等にご利用ください。

[校友会事務局]

メール jimukyoku@kogakuin.or.jp

電話 03-3342-2064

## 事務局からのお知らせ

校友会事務局長 関谷 重彦

### 2016年熊本地震への「くまモン募金」のお礼とご報告

この度の熊本地震により被害を受けられた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

工学院大学校友会では、2016年4月14日(木)以降に発生した熊本地震災害により被害を受けられた方々を支援するため、くまモン募金箱を2016年7月より校友会事務局に設置いたしました。その間多くの会員の皆様や訪問された外部の方々からお預かりした募金を一旦集計し、右記の通りとなりましたことをご報告させていただきます。

### 募金の総額 ¥13,240-(2016年7月1日～2018年2月20日)

皆様から寄せられた上記募金額は、2月22日(木)に熊本県東京事務所へ持参の上、寄付させていただきました。ご協力いただいた皆様に心よりお礼申し上げますとともに、校友会室には引き続き募金箱を設置しておりますので、今後ともご協力のほどお願い申し上げます。



# 維持協力会費納入者ご芳名

日頃より校友会活動にご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。維持協力会費納入のお願いに際しましても多大なご協力を頂きありがとうございます。

おかげさまで、2018年1月末までに811件3,264,838円のご協力を頂きました。

校友会活動や学園及び学生支援に運用活用しておりますことをご報告申し上げます。

2017年2月～2018年1月までに維持協力会費を納入された方々のお名前を同窓会別、卒業年順に掲載しております。

敬称は省略いたしました。

複数の同窓会所属の方は振込票の会員番号の同窓会に掲載いたしました。

<b>【機械系同窓会】</b>		1966 浦田 精一	1972 天沼 茂夫	2008 稲井 憲二	1969 馬鳥 晴夫	2015 伊藤 周平
1947 池田 修	1966 本田 信之	1972 川合 一三	2010 森 健亮	1970 菅原 康里	2017 小山 哲司	
1948 水嶋 国臣	1966 松原 浩一	1972 水澤 久夫	2014 柴原 賢一	1970 津田 達行	匿名 16件	
1952 田島 邦久	1966 青地 律夫	1972 一ツ木幹夫	匿名 18件	1970 松原 進		
1953 今関 和道	1966 榎本 光孝	1972 青木 行雄		1970 山崎 正		
1954 小倉 昭夫	1966 古賀 紘	1973 栗本 茂生		1970 田中 宣雄		
1955 吉川 孝之	1966 佐藤 勝利	1973 堀内 博典		1971 和田 欣也		
1956 横地 良成	1967 紺屋 隆	1973 横田 仁		1971 林 猛		
1957 柿木 秀輝	1967 布目 潮崇	1973 石原 正博		1972 秋田 彰一		
1957 仲田 糸男	1967 茂木 一男	1974 海藤 潤二		1972 北原 恵一		
1957 岡田 明	1967 根本 俊雄	1974 岡崎 明男		1972 月岡 忠		
1957 岡野 健二	1967 野島 一	1974 岡崎 孝宣		1972 若林 貞由		
1958 海老澤 雄	1968 大山 正雄	1974 小松崎裕久		1972 椎名 義則		
1958 大橋 作栄	1968 金子 充	1974 秋山 宜亮		1972 松村 恵司		
1958 金井 誠之	1968 三海 勝弘	1974 大野 好和		1973 志村 豊		
1958 伊藤 正	1968 重村 修二	1974 山下 晴久		1973 白井 精滋		
1959 赤木 信	1968 滝島 正之	1974 赤沢 房次		1973 浜田 康裕		
1959 土屋 力勇	1968 池下 克彦	1975 植木 幸裕		1973 吉村 裕至		
1960 田中 正春	1968 副島 一義	1975 唐鎌 貞郎		1973 稲田 光男		
1960 小沼 義郎	1968 簡野 紀夫	1975 橋爪 久美		1974 浅川 哲		
1961 渋谷 博明	1968 木下 幸秀	1975 飯野 和広		1974 菊川 博文		
1961 高橋 淳	1968 小林 孝	1976 小野 寛明		1974 高見 誠孝		
1961 横松 壽二	1968 塩川 悦男	1976 柴田 誠		1974 中島 敏夫		
1962 猪狩 一守	1968 和田 進一	1977 磯久 毅		1974 高橋 永治		
1962 齊藤 四郎	1969 大野 英夫	1977 佐藤 賢一		1974 矢ヶ崎隆義		
1962 関谷 敷	1969 小栗 賢一	1979 加藤 均		1976 乾 義秀		
1962 福田 忠彦	1969 多田 庸男	1979 平田 秀穂		1976 長田 誠		
1962 宮内 保幸	1969 中島 淳	1979 北村 友一		1976 坂野 哲夫		
1962 森川 勇	1969 中台 好弘	1980 岡尾 克彦		1976 宮下 一義		
1962 吉川 和彦	1969 南 弘	1980 長谷部重幸		1977 久慈 英樹		
1963 返町 功介	1969 三輪 明	1980 羽太 勇		1978 宮坂 金吾		
1963 草間 祥介	1969 並木 光雄	1980 畑 淳一		1978 山口 俊雄		
1963 鈴木 陸	1969 酒井 均	1980 高野 優		1978 釜谷 美則		
1963 三村 喜宏	1970 相原 邦男	1981 千賀 吉辰		1978 北村 邦夫		
1964 笠原 又一	1970 浅見 憲一	1981 早見 功		1979 浅利 信博		
1964 山梨 利夫	1970 石田 英雄	1983 石田 和成		1979 高見澤 博		
1964 岡田 英俊	1970 上田浩四郎	1985 海江 秀樹		1979 森田 保		
1965 岩田 秀明	1970 小川 静雄	1985 谷井 繁夫		1980 佐藤 紀之		
1965 小林 朗	1970 播田 光雄	1987 三田 一男		1981 長谷川信一		
1965 佐々木 徹	1970 武田 光行	1987 細田 健司		1982 池田 誠		
1965 白木信二郎	1970 藤井 政治	1989 千枝 智		1983 畑 恭一		
1965 関谷 重彦	1970 渡辺 文矢	1991 青木 潔		1984 石川 清		
1965 田中 英生	1970 雨池 一實	1992 小松 隆人		1986 牧野 英一		
1965 酒井 康雄	1970 福岡 正人	1993 川西 弘城		1988 飯嶋 康順		
1965 志賀 剛	1970 中嶋 重男	1993 當麻 秀樹		1991 鷹野 直道		
1965 鈴木 肇	1970 中磯 章治	1997 榎本 卓晃		1993 島田 博文		
1965 田辺 英孝	1971 久米 俊夫	1999 稲葉 誠治		1994 植木 英朗		
1965 根本 虎彦	1971 駒澤 猛	1999 坂口 教子		1994 宮内 真理		
1965 弓削 武男	1971 有岡 光男	2000 北原 穂積		2002 鈴木 優一		
1965 尾身 幸男	1971 小川 文夫	2000 宮田 恵子		2007 村上俊太郎		
1965 津村 勝之	1971 縣 純治	2003 長峯 弘幸		2008 三輪 大雅		
1965 宮坂 勝利	1971 前田 道徳	2004 高橋 謙介		2012 小暮 裕一		
1965 吉川富士男	1971 小川 和雄	2005 大岩 久峰		2014 青木 優人		
1965 内山 逸弘	1971 遠藤 修	2006 山口 裕大		2014 山田 千絵		
1966 岩本 信治	1971 金川七五三雄	2007 民部 俊貴		2015 阿部 哲久		

**【電気系同窓会】**

1959 安井 通八	1960 植村 裕純	1960 森 茂樹	1960 江袋 林蔵	1960 河本 洋次	1961 本間 隆	1962 加藤 勇	1962 小林 鶴夫	1962 高田 貢	1962 藤村陽一郎	1962 吉岡 道雄	1962 高村 劼	1962 糸数 倫則	1963 齋藤 茂樹	1963 鮎澤 壽久	1963 中島 鈴之	1963 柳沼 君忠	1964 石塚 良昭	1964 産屋敷和生	1964 陸山 洋一	1964 西野 罔勝	1964 三田村紘一	1964 渡辺 静雄	1964 高橋 静昭	1964 長島ひろし	1964 大友 進	1964 福元 儀智	1964 田中 仁	1964 早川 勝	1964 水江紀久雄	1965 高田 正稔	1965 藤保 昇	1965 寺田 邦男	1965 藤川 洋	1966 大塚 正男	1966 倉賀野孝行	1967 杉原 精一	1967 秋山 仁士	1967 森 信二郎	1968 遠藤 昊	1969 五十嵐 満	1969 笠原 幸兵	1969 藤井 決	1969 荒川 捷英	1969 井上 公男	1969 三好 和憲	1970 来住 康弘	1970 久禮 和彦	1970 小林 啓一	1970 白鳥 敏明
------------	------------	-----------	------------	------------	-----------	-----------	------------	-----------	------------	------------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-----------	------------	-----------	-----------	------------	------------	-----------	------------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	-----------	------------	------------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------

1970	檜本 桂一	2001	衣笠健太郎	1969	沼尾 俊郎	1979	関谷 真一	1974	内野 正之	1974	近藤 松男
1970	西村 学	2002	安部 智史	1969	森田 博	1979	高木 雅行	1974	飯塚 辰典	1974	狐塚 進一
1970	市川 新	2002	小田切雅志	1969	高橋 一元	1979	寺田 孝博	1974	岡安 彰	1974	御旅屋 豊
1970	江頭 虎夫	2003	國定 義典	1969	高橋 一男	1979	柳田 泉章	1974	角田 幸三	1974	三輪 和夫
1970	小林 利道	2004	箕谷 祐也	1969	斉藤 健次	1979	鳥山 富幸	1974	本橋真規夫	1975	清水 晴善
1970	椋田 實	2006	金林 賢治	1969	坂口 周平	1979	花岡 栄治	1975	梅田 俊幸	1976	藤田 純一
1970	川本 博	2009	込山 和彦	1969	初田 亨	1980	知花 毅	1976	小口 俊明	1977	島森 清
1970	芳田眞喜人	2010	大平 裕	1969	本沢 宗夫	1980	大原 健市	1982	田中 秀典	1978	板垣 訓由
1970	甘粕 一彦	2010	穴戸 正俊	1969	前田 清行	1981	山根 秀明	1985	伊東 繁孝	1978	井上 博明
1971	阿久津健三	2011	宇佐見健一	1969	木村 雅俊	1981	大谷 高一	1991	関谷 茂	1979	桜田 澄麿
1971	奥原 正道	匿名	32件	1970	岩瀬 栄子	1982	岡村 清	1994	熊川 輝之	1980	石政 忠男
1971	小野 彰			1970	飯田 隆三	1982	鈴木 敏彦	2007	田中 元樹	1981	千田 拓雄
1971	金子 博			1970	小名木朝光	1983	種市 俊也	2015	岩峰 康大	1981	関 裕児
1971	佐々木三七司			1970	勝谷 尚武	1984	川上 一盛	匿名	5件	1985	酒井 晃
1971	中山 正博			1970	渡部 哲次	1984	長江 典子			1985	櫻井 良尚
1971	長谷川 努			1971	沖崎 剛	1986	不破 達生			1986	武田 信夫
1971	堀内 敏夫			1971	内藤 幹雄	1987	小野里憲一			1986	吉田 和弘
1971	横須賀哲雄			1971	楡井 紀秀	1987	金子 純			1988	町山 和人
1971	知念 利夫			1971	横尾 格美	1987	下田平 滋			1988	内村 哲二
1971	原 明男			1971	吉田 一男	1988	松田 隆			1989	郷田 元宏
1971	吉浜 一			1971	登口 昭治	1989	三田 賢巳			1990	根本 洋一
1971	古沢 良夫			1971	渡辺 史郎	1989	山本 修			1991	下村 賢司
1972	斉藤 周平			1971	鈴木 公章	1989	間間 至			1993	田口 隆士
1972	半沢 悟			1972	佐藤 英雄	1991	香川 浩			1993	関田 弘美
1973	石北 宗一			1972	田中 幸二	1991	新海 俊一			1994	伊藤弘一郎
1973	上野 耕平			1972	中島 範義	1992	大塚 洋一			1994	安田 宏樹
1973	小沢 和重			1972	今井登志雄	1994	西川 豊宏			1995	葉山 恭徳
1973	小野 幸男			1972	鈴木 達志	1994	野牧英一郎			1996	戸石 洋平
1973	鈴木 幹夫			1972	濱田 昭夫	1995	星野 好亨			1997	齋藤 研吾
1973	大野耕市郎			1972	村田 正道	1998	萱沼 宏記			匿名	10件
1973	上野 忠明			1973	阿部 信義	1998	内田 猛				
1974	島林 正美			1973	上田 卓司	1999	北川 穂高				
1974	大久保 清			1973	粕谷 勝美	1999	佐藤 須雅				
1974	中尾 英明			1973	中川 博正	2000	岸本 弘規				
1974	南部 高史			1973	山崎 忠幸	2003	篠崎 康治				
1974	小峰 秀樹			1973	吉田 登	2006	庄司 豊				
1975	工藤 一博			1973	島田 敏幸	2009	山岸 梨香				
1975	小濱健二郎			1973	増山 英樹	2010	野中 英治				
1975	徳田 博文			1973	渡部 孝幸	2012	仲野 祥平				
1975	藤原 達雄			1974	廉沢 映治	2013	樋口 彰文				
1975	湯川 良			1974	木村 薫	2015	堤 健士郎				
1976	吉賀 摂			1974	楠 昭	匿名	24件				
1976	橘 修三			1974	河野 工						
1977	中島 健次			1974	篠原 良						
1977	中田 一寿			1974	宮田 栄						
1977	新倉 重雄			1974	平田 洋一						
1978	佐藤 昌志			1974	大島 英雄						
1978	日下田 稔			1974	野口 昭和						
1978	斉藤 信一			1975	安原雅代子						
1978	萩原 潤			1975	小内 實						
1979	綾部 栄			1975	柏瀬 芳昭						
1979	根本 弘道			1975	菅野 茂						
1979	諸星 佳之			1975	高瀬 栄介						
1980	和泉 法昌			1975	依田 一						
1980	若井 克友			1976	井上 保夫						
1980	大谷 孝治			1976	嶋田 修						
1980	安藤 正巳			1976	五月女元良						
1981	竹中 了			1976	山越 衛						
1983	唐崎 幸弘			1976	吉田 進						
1984	行木 浩			1977	柿沼 誠一						
1986	松田 清			1977	霜田 隆						
1986	宮木 義雄			1978	伊藤 敏						
1987	浅井 正			1978	中澤 義徳						
1988	山田 清			1978	森 正夫						
1989	田中 肇			1978	渡辺 貞承						
1994	佐藤 佳則			1979	内野 正之						
1995	田中 久弥			1979	木村 雄一						

【建築系同窓会】

【専門学校同窓会】

【企業】(代表者)

- ルート設計株 大井 雄司
- 機1974 大井 一政
- 越後製菓株 山崎 彬
- 化1965 山崎 彬
- 成増不動産 内田 忠男
- 電1963 内田 忠男
- 株三光製作所 藤原 俊男
- 株テクノクルー 矢吹 定夫
- 電1980 矢吹 定夫
- 神野商事株 神野 悠介
- 電2002 神野 悠介
- 木本商事株 木本 安信
- 建1965 木本 安信
- ㈲ビュー設計事務所 小林 一之
- 建1984 小林 一之
- ㈲小島瓦店 小島 民久
- 建1973 小島 民久
- タマキハウジング株 玉城 英之
- 建2002 玉城 英之
- ロボテック株 山喜 義則
- 専1973 山喜 義則
- 靖建築事務所(有) 鈴木 靖則
- 専1987 鈴木 靖則
- 株シダークロウ 小杉 克彦
- 専1999 小杉 克彦

【団体】

- 樹輪の会
- K.P.F.R.OB会
- 卒業生有志の会
- KS0B42兼子
- 匿名 1件

今後も学園への寄附及び本学の名譽となる研究活動、世界レベル・全日本レベルの大会での学生活動に対して支援して行きます。皆様方のさらなるご協力を頂きたくお願い申し上げます。



建設業を取巻く  
「**労災RISK**」と「**第三者RISK**」をカバーする

# 総合労災保険

## 労災RISK

従業員または協力業者・  
一人親方(大工・左官職  
人・板金職人等が家族で  
営んでいる方)のケガ等

## 第三者RISK

お施主様・隣家・通行人  
等にとえた事故(貴社・  
協力業者以外)

総合労災保険は、Chubb損害保険(株)の業務災害安心総合保険(GPA Pro)と建設Proを組み合わせた商品のペットネームです。

### ■お問い合わせ(取扱代理店)



株式会社オールジャパンインシュアランスサービス

函館オフィス  
〒040-0063 北海道函館市若松町6-7 三井生命ビル7階  
東京オフィス  
〒103-0027 東京都中央区日本橋1-2-10 東洋ビルディング4階

URL <https://www.ais-hoken.co.jp> ☎0120-116-513



### ■引受保険会社

Chubb損害保険株式会社

本社  
〒141-8679  
東京都品川区北品川6-7-29 ガーデンシティ品川御殿山

# 丸大食品



《丸大のギフトは、どなたにも喜ばれます。》

お歳暮・お中元の時期のほか、記念品・新築祝・開店祝  
御礼・内祝・快気祝等、いつでもご利用になれます。

丸大食品株式会社 東日本特販営業課

〒135-0051 東京都江東区枝川2-23-2

TEL 03(3647)3270 FAX 03(3647)3274



くつろぎ、味わい、楽しむ。

ホテルのあたたかさ  
感じてください。



 京王プラザホテル

〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1

TEL. (03) 3344-0111

<http://www.keioplaza.co.jp/>

JR・私鉄・地下鉄「新宿駅(西口)」「西新宿駅」より徒歩5分  
都営大江戸線「都庁前駅」B1出口すぐ



安全、安心、快適を提供し  
社会に貢献いたします。

三和グループ 三和シャッター工業株式会社 03-3346-3011



これまで、そしてこれからも

**工学院の皆さんのキャンパスライフをサポートします。**



▲八王子食堂部

▼八王子購買書籍部



**工学院大学学園生活協同組合**

本部

TEL : 042-633-9012 / FAX : 042-624-5387

E-mail : kogakuin.h@fc.univcoop.or.jp

URL : <http://www.univcoop.jp/kogakuin/>

ひとりひとりが、  
未来を灯す。



光を灯す。

新しい価値が、生まれる場所に  
みんなが見上げる、その街の象徴に  
人々が安心して暮らす毎日に  
ずっと続いていく明日に。

私たちは、

総合設備企業の関電工です。

 **関電工**  
[www.kandenko.co.jp/](http://www.kandenko.co.jp/)

身近なシーンから都市のインフラまで  
火災から大切な命と財産を守る、能美防災



能美防災は、自動火災報知設備と消火設備のトップメーカーです。

**NOHMI 能美防災**

代表取締役会長 橋爪 毅 (本学生産機械工学科 1967 年卒)

本社: 〒102-8277 東京都千代田区九段南4丁目7番3号  
西関東支社: 〒192-0082 東京都八王子市東町2番12号

# 選ばれて、5.7万家族。

お陰様で、長期固定金利住宅ローン【フラット35】の  
融資件数が、平成29年度は6,629件  
累計57,310件となりました。  
これまでご利用頂きました約5.7万家族の皆様方  
ありがとうございました。



## 株式会社 優良住宅ローン

本社所在地:東京都新宿区一丁目3番12号 壱丁目参番館5階 電話:03-6457-7451(代表)

優良住宅ローン

検索

### ●会社概要

社名 株式会社 優良住宅ローン  
代表者名 代表取締役 田野邊 幸裕  
(建築学科 昭和44年卒業)  
許可等 貸金業 関東財務局長(4)第01443号  
日本貸金業協会会員番号:第003153号  
設立 平成17年2月25日  
資本金 6億円

### ●拠点

本社 東京都新宿区新宿1-3-12 壱丁目参番館5階  
札幌支店 札幌市中央区大通西12丁目4  
あいおいニッセイ同和損保 札幌大通ビル 8階  
仙台支店 仙台市青葉区大町1-2-1 ライオンビル7階  
さいたま支店 さいたま市大宮区宮町一丁目15番地 松屋ビル4階  
静岡店 静岡市駿河区南町14番1号 水の森ビル9階  
名古屋支店 名古屋市中区栄4-3-26 昭和ビル1階  
神戸支店 神戸市中央区京町79 日本ビルヂング9階  
広島支店 広島市中区大手町3-2-31  
損保ジャパン日本興亜広島大手町ビル8階  
高知店 高知市杉井流16-27 フレンドフォー C  
福岡支店 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル4階  
福岡天神南店 福岡市中央区清川3-1-12 第3いわきビル1階  
熊本店 熊本市中央区八王寺町30-1 メインプレイス熊本南5階  
鹿児島店 鹿児島市鴨池2-1-1 アーバンスクエア東邦3階

【フラット35】とは、独立行政法人住宅金融支援機構と民間金融機関が提携して皆様に提供している長期固定金利住宅ローンです。

# 広報部からのお知らせ

## 広告募集

### 『あなたの会社や製品を紹介しませんか?』

本誌は、日本全国で活躍している工学院大学の卒業生を中心に、約68,000人に配布しています。貴社の活動や製品・サービスを紹介してみませんか。

- ◎募集対象……企業、組織、団体などの広告宣伝など
  - ◎掲載紙……工学院大学校友会報 Vol.140
  - ◎発行予定日…2019年4月25日
  - ◎発行部数……約68,000部
  - ◎主な配布先…工学院大学、工学院大学附属高等学校の卒業生、専門学校卒業生、卒業生のご父母、現任教員、学園関係者など
  - ◎掲載料金……第2表紙・第3表紙：¥240,000-  
本文内：¥90,000-(1/2ページ)/¥180,000-(1ページ)
  - ◎募集締切り…2019年1月15日
- 詳細につきましては、工学院大学校友会事務局までお問い合わせください。

## 記事募集

### 『近況を校友会報やホームページで紹介しませんか?』

広報部では、校友のみなさまの活動を本誌やホームページを使って紹介するお手伝いをします。支部や同窓会、同期会主催のイベント案内、参加者募集や楽しかった活動の報告など、お気軽にお知らせください。

また、校友のみなさまがご執筆された書籍の紹介もいたします。

詳細につきましては、工学院大学校友会事務局までお問い合わせください。



## 編集後記

今年も校友会報をお届けします。先日、惜しまれながら逝去された校友会副会長の澤崎 宏広報部長のリーダーシップのもと、広報部が校友会報の誌面デザイン刷新に着手して3年目が過ぎようとしています。読者の皆様からは、本誌の特集企画や誌面構成に多くのご意見をお寄せいただいております。多数のご意見をいただけるのも皆様にしっかりと本誌をお読みいただいていることの証と、編集部一同、大変感謝いたしております。引き続き、澤崎部長のご遺志を継ぎ、有益な情報を校友の皆様にご提供できるよう、充実した校友会報の編集に取り組んでまいります。

本号では前号から引き続き、各同窓会、支部のページに加え、OB・OG会の特集ページを設けて、全国各地の様々な分野・組織でご活躍の校友を紹介しました。今回紹介させていただいた皆様の他にも様々な地域、規模、メンバーによる活動

が展開されています。次回は是非、貴方が参加されている会の活動をご紹介します。

さて、本誌P38でもお知らせしましたが、2018年度は代議員選挙の年です。6月には代議員の立候補受付がスタートし、8月末に投票が締め切れ、9月には新しい代議員が選出されます。7月下旬には立候補者の選挙公報が校友会ホームページに掲載されますので、校友会の維持・発展のために是非、代議員選挙投票への参加をお願いします。

最後に、本誌の発行に多大なるご支援・ご協力をいただきました学園理事長、大学長、附属中学校・高等学校長、特集記事にご登場いただいた各OB・OG会の皆様、各同窓会長、原稿をご執筆いただいた会員各位、ならびに広告をご投稿いただいた企業各社に、この場を借りてお礼を申し上げます。

## 工学院大学 校友会報 Vol.139

発行日 ● 2018年4月20日

発行 ● 一般社団法人工学院大学校友会

住所 ● 〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2

電話 ● 03-3342-2064 / 03-3340-1649

FAX ● 03-3342-2035

メール ● jimukyoku@kogakuin.or.jp

編集 ● 一般社団法人工学院大学校友会 広報部

[部長] 澤崎 宏(建築)

[副部長] 佐藤 弘規(建築)

[部員] 坂口 教子(機械)、浅利 信博(化学)、  
名取 勝敏(電気)、安宅 恵理(電気)、  
新海 俊一(建築)、田中 元樹(高校)、  
井上 博明(専門)

印刷・製本・デザイン ● 図書印刷株式会社

工学院大学校友会のホームページはこちらから <http://www.kogakuin-koyukai.jp/>



工学院大学校友会

検索

最新情報・イベント情報は  
こちらでチェック!

携帯スマホはこちらからアクセス!

